

# 財政の概要

— 平成 22 年度決算をふまえて —

平成 23 年 9 月

山形県白鷹町

<b>1. はじめに</b>	<b>1</b>
<b>2. 決算概要</b>	<b>2</b>
(1) 各年度収支(収入、当初予算、公債費比率等)	2
(2) 標準財政規模等(基準財政需要額、財政力指数等)	3
ポイント① 経常収支比率	4
ポイント② 交付税	5
(3) 健全化判断比率等	6
<b>3. 平成22年度一般会計決算</b>	<b>7</b>
(1) 総括(歳入・歳出等)	7
(2) 歳入内訳(町税の状況等)	8
ポイント③ 自主財源比率	10
(3) 歳出内訳	11
ポイント④ 義務的経費比率	12
① 歳出内訳及び財源内訳	13
② 人件費及び職員数	14
③ 物件費	15
④ 維持補修費	15
⑤ 扶助費	15
⑥ 補助費等	16
(一部事務組合に対する当町負担金の使途)	16
⑦ 公債費	17
⑧ 積立金及び基金	17
⑨ 投資及び出資金	18
⑩ 貸付金	18
⑪ 繰出金	18
平成22年度主な事業と財源内訳	19
<b>4. 公債費と地方債残高</b>	<b>20</b>
<b>5. 白鷹町のバランスシート(平成21年度末版)</b>	<b>24</b>
<b>6. 平成22年度特別会計等決算</b>	<b>26</b>
(1) 水道事業	26
(2) 農業集落排水事業	33
(3) 個別排水処理施設事業	33
(4) 特定地域生活排水処理事業	34
(5) 下水道事業	34
(6) 病院事業	37
(7) 訪問看護事業	46
(8) 国民健康保険事業	49
(9) 老人保健医療事業	50
(10) 後期高齢者医療事業	51
(11) 介護保険事業	52
(12) 介護サービス事業	53
(13) 土地開発公社	54
(14) アルカディア財団	55
(15) 有限会社ケイエスしらたか	56
<b>7. 類似団体との比較(平成21年度決算を基準として)</b>	<b>57</b>
<b>8. 公共施設の状況</b>	<b>61</b>

# 財政の概要

## 1. はじめに

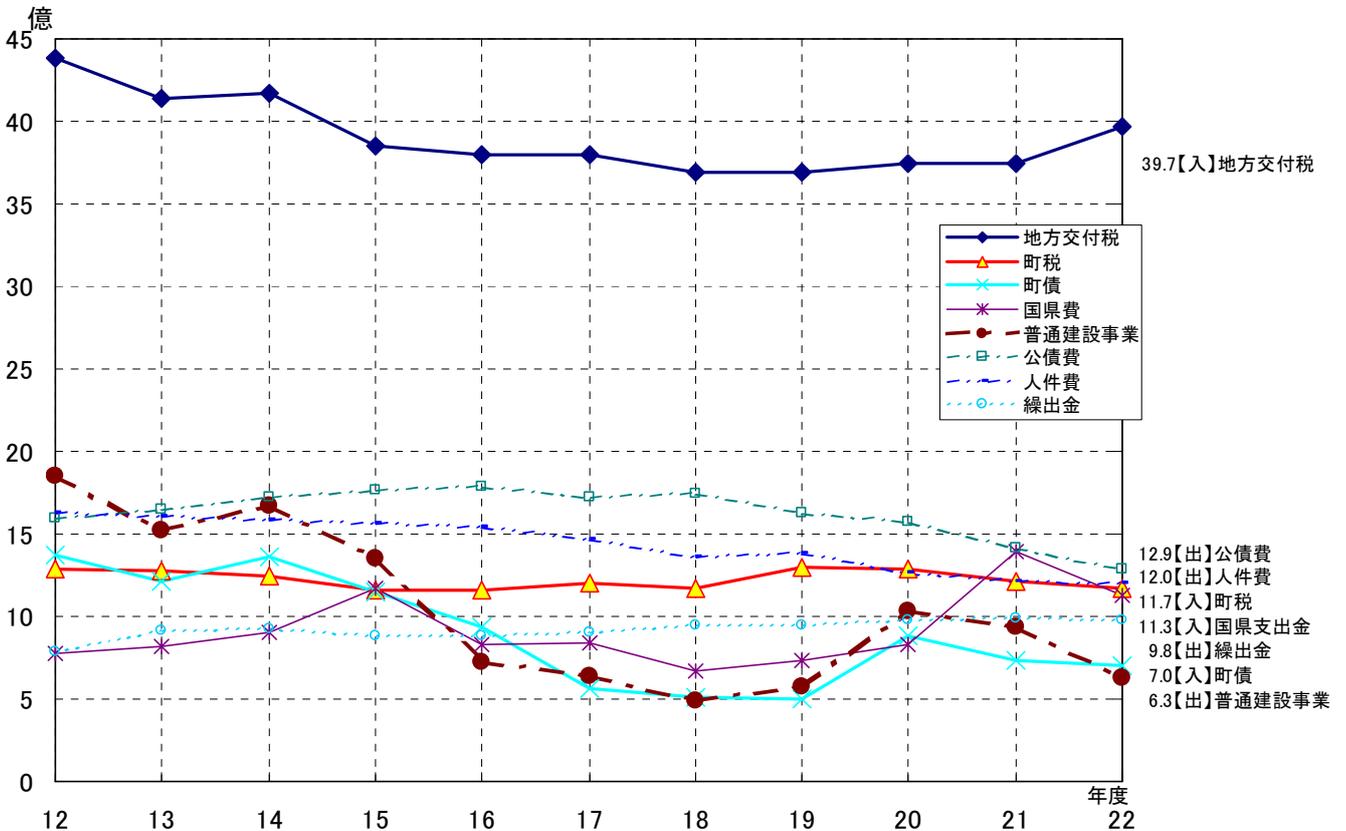
本格的な少子・高齢社会の到来、世界的な経済不況や地球環境問題の深刻化、さらには東日本大震災の影響による地域経済の悪化など、地方自治体を取り巻く環境は目まぐるしく変化してきている。そのような中で、住民に最も身近な基礎的自治体として、安心して安全な生活ができる総合的行政サービスを提供する市町村の役割は、ますます重要になっている。こうした中で、それぞれの特性を踏まえ個性と活力に満ちた魅力ある地域の形成、持続的発展が可能な循環型社会の構築、少子・高齢社会への対応や産業の振興、防災対策の強化など各種政策課題に取り組む必要があることから、引き続き多岐にわたる財政需要が見込まれている。

一方、地方財政は、景気後退等に伴い地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が急激に落ち込む中で多額の借入金残高を抱え、その元利償還が大きな負担となるなど非常に厳しい状況となっている。このような状況の中で、三位一体改革により生じた地方と都市の格差是正のための地域活性化施策の充実・雇用創出等に必要な交付税措置などが図られたとはいうものの、多額の臨時財政対策債発行による調整であることから、地方財政はまだ大きな課題を抱えており、財政力の弱い自治体は依然として厳しい財政運営を迫られている。

こうした状況において、地方自治体が自立してその役割と責務を果たしていくためには、徹底した行財政改革に努め、簡素で効率的な行政システムを確立するとともに、税収の確保や受益者負担の適正化など財源の確保に努める一方、事務事業の実施にあたっては優先順位をつけ取捨選択を行いながら、限られた財源の重点配分と経費の縮減を進めることにより財政の健全化を図っていく必要がある。

このたび、平成22年度地方財政状況調査(全国統一様式)や各種調査の資料をもとに、町の財政運営の状況を「財政の概要」として取りまとめ、今後の財政運営等に活用するところである。

過去10年間の歳入・歳出の主なものの推移 (歳入:実線 歳出:点線)



2. 決算概要  
(1) 各年度収支

(単位：千円、%)

年度	歳入		歳出	実質収支 (増又は減少の場合のみ)		単年度収支	積立金	繰上償還金	積立金 取り崩し額	実質単年度 収支	一般会計 当初予算	対前年度 伸び率	町 税	経常収支 比率	公債 費比率	起債制限 率	実質公債 費比率	投資的経費 充当起債額
	対前年 度伸び率	対前年 度伸び率		対前年 度伸び率	対前年 度伸び率													
2	6,734,180	7.2	6,442,299	8.2	291,881	△ 34,685	16,145	0	0	△ 18,540	5,803,000	10.8	1,025,315	75.4	14.4	12.8	1,942,394	602,913
3	7,053,195	4.7	6,726,059	4.4	(323,019)	31,138	13,089	0	100,000	△ 55,763	6,181,000	6.5	1,041,025	77.0	14.1	12.8	1,770,362	716,550
4	8,245,490	16.9	7,857,052	16.8	388,438	65,419	5,324	76,650	0	147,393	6,944,300	12.3	1,109,170	73.3	13.0	12.3	2,133,445	949,900
5	9,226,245	11.9	8,851,813	12.7	374,432	△ 75,190	103,570	0	45,000	△ 16,620	7,435,000	7.1	1,154,394	76.8	11.5	11.2	2,788,776	1,295,000
6	8,623,664	△ 6.5	8,180,881	△ 7.6	442,783	55,887	153,443	0	75,000	134,330	7,330,000	△ 1.4	1,132,808	80.2	11.7	10.1	2,274,025	1,085,000
7	9,336,462	8.3	8,920,300	9.0	416,162	761	52,237	0	85,000	△ 32,002	7,900,000	7.8	1,216,259	79.2	12.3	9.5	2,708,403	1,201,500
8	10,972,539	17.5	10,637,486	19.3	335,053	△ 62,072	51,281	73,836	80,000	△ 16,955	10,035,000	27.0	1,260,265	81.5	13.7	9.9	3,838,261	2,032,100
9	10,496,184	△ 4.3	10,115,883	△ 4.9	380,301	72,477	49,174	0	48,000	73,651	9,270,000	△ 7.6	1,320,450	83.3	14.2	10.5	2,903,248	1,640,300
10	10,146,341	△ 3.3	9,723,962	△ 3.9	422,379	△ 53,004	51,161	28,464	50,000	△ 23,379	9,037,000	△ 2.5	1,263,177	83.0	15.8	11.4	2,697,525	2,020,150
11	10,325,838	1.8	9,874,037	1.5	451,801	91,464	1,270	0	0	92,734	8,907,000	△ 1.4	1,284,866	82.8	16.2	11.8	2,728,897	1,813,550
12	9,263,497	△ 10.3	8,691,825	△ 12.0	571,672	73,733	2,235	0	0	75,988	8,353,000	△ 6.2	1,285,897	85.6	18.1	12.4	1,874,651	1,297,866
13	8,933,062	△ 3.6	8,498,050	△ 2.2	435,012	△ 80,932	1,585	0	0	△ 79,347	8,200,000	△ 1.8	1,284,822	89.7	19.5	13.0	1,577,895	1,039,234
14	8,960,385	0.3	8,588,986	1.1	371,399	△ 53,788	1,196	30,360	0	△ 22,232	9,058,000	10.4	1,243,101	93.5	19.2	13.6	1,682,040	1,072,000
15	8,617,094	△ 3.8	8,259,460	△ 3.8	357,634	△ 140	1,152	12,393	0	13,405	8,065,000	△ 10.9	1,157,082	99.8	20.4	14.1	1,358,234	627,500
16	8,078,164	△ 6.3	7,743,087	△ 6.3	335,077	△ 29,499	391	34,532	70,000	△ 64,576	7,830,000	△ 2.9	1,156,191	93.3	20.6	14.4	769,992	429,022
17	7,723,065	△ 4.4	7,377,733	△ 4.7	345,332	11,947	60,303	0	60,000	12,250	6,975,000	△ 10.9	1,196,258	91.8	19.8	14.7	682,150	294,478
18	7,391,545	△ 4.3	7,078,358	△ 4.1	313,187	△ 27,167	10,527	0	10,000	△ 26,640	7,190,000	3.1	1,171,561	92.6	20.1	14.9	602,899	279,600
19	7,422,326	0.4	7,090,881	0.2	331,445	18,530	31,035	490	30,000	20,055	7,040,000	△ 2.1	1,304,684	96.7	17.6	14.5	574,063	295,100
20	7,815,643	5.3	7,432,251	4.8	383,392	17,846	50,994	572	10,000	59,412	7,420,000	5.4	1,293,166	95.7	15.8	14.0	1,035,329	663,737
21	8,198,640	4.9	7,774,942	4.6	423,698	40,245	234,261	636	90,880	184,282	7,080,000	△ 4.6	1,214,728	98.8	13.1	12.6	946,499	436,700
22	8,002,120	△ 2.4	7,495,399	△ 3.6	506,721	81,830	221,435	0	0	303,265	6,838,000	△ 3.4	1,166,220	95.6	11.1	11.0	631,623	220,364

○公債費比率=(A-(B+C))/(D-C)×100

○起債制限比率=(A-(B+C+E))/(D-(C+E))×100

(注) 実質収支の( )書きには、地方道路整備臨時交付金相当額を含まない。  
各年度の歳入・歳出には、借換債・事業勘定として純計控除した額等は含まないため、決算額と差が生じる年度もある。  
(平成20年度以前は記載省略)  
平成21年度の歳入・歳出には、公的資金補償金免除繰上償還に係る借換債3,700千円、事業勘定分等  
(介護サービス事業・高齢者医療事業)として純計控除した11,752千円を含まない。

平成22年度の歳入・歳出には、事業勘定分等(介護サービス事業・高齢者医療事業)として純計控除等した18,616千円を含まない。

△指標と意味

○実質収支=形式収支(歳入-歳出)-翌年度へ繰越すべき財源

○実質収支比率は、実質収支/標準財政規模×100%で算出され、平成22年度は8.8%である(21年度は7.5%)

※標準財政規模には臨時財政対策債発行可能額を含む。

○経常収支比率は、経常的経費充当一般財源/経常一般財源総額×100%で算定される。

12年度までの( )内は減税補てん償を経常一般財源に加えた場合の比率

13年度以降の( )内は減税補てん償及び臨時財政対策債を経常一般財源から除いた場合の比率  
経常的経費とは、毎年継続的に支出される経費をいい、突発的、ないし一時的なもの、又は、経費の形態に類別性のない臨時経費に相当するものである。この経常収支比率は、人件費、扶助費、公債費等のように容易に縮減することの困難な職務的性格の強い経費に、即税、交付税を中心とする経常一般財源収入が、どの程度消費されているか、その大ききによって財政構造の弾力性を見ようというものである。つまり、この比率が小さいほど、臨時の財政需要に対して余裕をもつことになり、財政構造が弾力的であるといわれる。尚、この比率は70%～80%の範囲が望ましく、100%を超える場合は不健全財政といわれる。

公債費に充当された一般財源の、一般財源総額に占める割合であり、この比率が高いほど財源運営の硬直性の高まりを示す。3ヶ年平均で14%を超える、または超える見込みの団体は、公債費負担適正化計画を策定し、実行していく必要があった。

A:地方債の元利償還金(繰上償還等を除く) B:AIに係る特定財源 C:元利償還金に係る交付税措置(公債費算入)  
D:標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を含む) E:元利償還金に係る交付税措置(事業費補正算入)

○実質公債費比率=(A+B)-(C+D)/(E-D)×100 の3ヶ年平均

18年度から、地方債の発行が国の許可制から協議制に移行されたことに合わせ導入された。一般会計から公営企業の元利償還金に対する繰上金、一部事務組合分担金のうち元利償還金相当分、債務負担行為に基づく支出のうち公債費に充当するものなど、準元利償還金とみなし、計算する。18%を超えた地方自治体は地方債発行が従来通りの許可制となり(公債費負担適正化計画要策定)、25%を超えると、単独事業などで地方債の発行が制限される。財政健全化判断比率のひとつにもなっている。

A:地方債の元利償還金(繰上償還等を除く) B:地方債の元利償還金に準ずるもの(準元利償還金)

C:元利償還金又は準元利償還金に充当される特定財源 D:元利償還金及び準元利償還金に係る交付税措置

E:標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を含む)

※AIは、公債費比率算出の際に繰上償還金及び起債制限比率算出の際に繰上償還金を含む。

※Dは、公債費、事業費補正又は密度補正のいずれかの方式によって、普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入される額

(2) 標準財政規模等

年度	標準財政規模	標準財政収入額				標準財政支出額				基準財政収入額			交付基準額 A-B	普通交付税額	特別交付税額	臨時財政対策発行可能額 C	財政力指数 (単年度)	財政力指数 (3か年平均)
		標準税収入額等	標準税収入額等 (18主税)	標準税収入額等 (18主税) 個別算定経費 (従来型) (19から)	標準税収入額等 (18主税) 包括算定経費 (新型) (19から)	公債費	小計 (臨時償還前)	錯誤措置額	計 A (臨時償還後)	算定結果	うち 譲与税等	錯誤措置額						
2	3,949,204	1,179,851	2,155,350	1,070,410	455,285	3,681,045	△ 459	3,680,586	911,307	105,674	△ 74	911,233	2,769,353	2,769,353	238,135	0	0.248	0.259
3	4,127,249	1,242,867	2,218,631	1,113,569	520,563	3,852,763	0	3,852,763	959,963	111,250	8	959,971	2,892,792	2,892,792	252,435	0	0.249	0.253
4	4,600,442	1,346,959	2,356,216	1,240,099	704,687	4,301,002	357	4,301,359	1,038,561	115,203	459	1,039,020	3,262,339	3,262,339	263,853	0	0.241	0.246
5	4,827,894	1,445,967	2,542,343	1,467,188	485,454	4,494,985	1,640	4,496,625	1,114,698	120,890	0	1,114,698	3,381,927	3,373,675	274,383	0	0.248	0.246
6	4,753,122	1,460,101	2,855,381	1,367,077	404,814	4,427,272	△ 124	4,427,148	1,127,205	128,518	△ 245	1,126,960	3,300,188	3,293,021	272,708	0	0.255	0.248
7	5,081,181	1,577,451	2,736,706	1,532,519	455,688	4,724,913	0	4,724,913	1,216,473	133,539	0	1,216,473	3,508,440	3,503,730	282,979	0	0.257	0.253
8	5,129,628	1,633,112	2,774,102	1,503,360	479,133	4,756,595	274	4,756,869	1,259,475	138,565	878	1,260,353	3,496,516	3,496,516	295,401	0	0.265	0.259
9	5,309,453	1,695,189	2,854,551	1,595,334	505,501	4,925,386	0	4,925,386	1,306,699	141,229	0	1,306,699	3,618,687	3,614,264	304,863	0	0.265	0.262
10	5,449,208	1,753,434	2,947,039	1,529,939	572,924	5,049,902	△ 956	5,048,946	1,350,499	141,695	△ 515	1,349,984	3,698,962	3,695,774	347,123	0	0.267	0.266
11	5,545,666	1,667,108	3,017,640	1,593,497	557,367	5,168,504	0	5,168,504	1,287,234	147,613	0	1,287,234	3,881,270	3,878,558	398,501	0	0.249	0.260
12	5,571,014	1,622,159	2,976,193	1,564,179	657,064	5,197,436	△ 397	5,197,039	1,248,968	129,396	△ 784	1,248,184	3,948,855	3,948,855	435,851	0	0.240	0.252
13	5,467,156	1,720,010	2,968,601	1,397,840	707,200	5,073,641	0	5,073,641	1,322,737	130,918	0	1,322,737	3,750,904	3,747,146	392,969	119,262	0.261	0.250
14	5,404,384	1,622,811	2,792,998	1,389,522	759,592	4,942,112	89,258	5,031,370	1,246,857	118,994	△ 156	1,246,701	3,784,669	3,781,573	383,757	238,731	0.252	0.251
15	4,993,002	1,492,787	2,908,366	1,419,546	805,213	5,133,125	0	4,660,253	1,151,181	126,363	0	1,151,181	3,509,072	3,500,215	350,959	472,872	0.247	0.253
16	4,973,587	1,513,932	2,332,096	1,191,395	825,411	4,948,902	0	4,627,943	1,168,288	131,356	0	1,168,288	3,459,655	3,459,655	341,107	320,959	0.252	0.250
17	5,051,366	1,575,937	2,996,618	1,236,650	836,174	4,956,442	△ 2,309	4,705,168	1,230,561	191,247	△ 822	1,229,739	3,475,429	3,475,429	326,950	248,965	0.261	0.253
18	5,011,959	1,646,608	3,061,181	959,787	865,835	4,886,803	0	4,664,331	1,298,980	247,803	0	1,298,980	3,365,351	3,365,351	319,843	222,472	0.278	0.264
19	4,958,398	1,592,136	3,246,070	697,585	888,194	4,831,849	△ 326	4,629,678	1,256,386	127,583	△ 888	1,255,498	3,374,180	3,366,262	327,084	201,845	0.271	0.270
20	4,996,076	1,602,725	3,257,982	681,255	910,887	4,850,124	0	4,661,064	1,265,669	127,803	0	1,265,669	3,395,395	3,393,351	357,050	189,060	0.272	0.274
21	4,914,615	1,517,319	3,375,784	665,051	859,307	4,900,142	0	4,606,719	1,205,280	117,695	0	1,205,280	3,401,439	3,397,296	356,519	293,423	0.262	0.268
22	4,958,444	1,396,862	3,559,647	697,248	791,654	5,048,549	△ 191	4,674,791	1,112,815	112,315	394	1,113,209	3,561,582	3,561,582	404,664	373,567	0.238	0.257
23	4,837,905	1,378,663	3,421,741	678,608	745,377	4,845,726	0	4,557,580	1,098,338	108,717	0	1,098,338	3,459,242	3,459,242	288,146	288,146	0.241	0.247

地方交付税について

平成23年度の地方財政は、景気後退等に伴い地方税収入が落ち込む中、社会保障関係費の自然増や公債費が高い水準で推移すること等により、地方の財源不足が大幅に拡大すると見込まれるため、前年に引き継ぎ普通交付税総額の増額措置がなされた。実際に普通交付税については、雇用対策や域資源活用による実情に応じた特長的な施策が実行出来るよう雇用対策・地域資源活用推進費を創設した。加えて、測定単位として用いる国勢調査人口の切り替えに伴い減収する自治体があることを踏まえ、昨年見直しが行われた段階補正・人口急減補正が継続されることとなった。また、独自のプロジェクトに前向きに取り組み地方自治体に対する「頑張る地方応援プログラム」は平成21年度で終了し激変緩和対策として、終了時の3割程度が措置されている。

○標準財政規模=標準税収入額等+普通交付税 ※平成20年度から標準財政規模に臨時財政対策発行可能額を除いて算出しているが、本表は、平成元年から推移を表すものであるため、標準財政規模から臨時財政対策発行可能額を除いて算出している。 (注) 2年度 " " 152,323 を含む。

○標準税収入額等=(基準財政収入額-地方譲与税等)×100/75+地方譲与税等

○普通交付税額=交付基準額-基準財政需要額×調整率

※19年度以降の普通交付税は、調整率により交付基準額より減額になっているが、23年度は調整率無。

○臨時財政対策債

地方財源の不足に対処するため、従来の交付税特別会計借入金による方式にかえて、地方財政法5条の特例債として発行されるもの。

○錯誤措置額は前年度以前の算定錯誤額を措置するもの。

○財政力指数=基準財政収入額(錯誤措置前)/基準財政需要額(錯誤措置前) ※財政力指数は普通3か年平均値をいう。

財政力指数は、一般財源のうち、町税等のもつシェアによる財政力の強弱、あるいは財政的な自律性の大きさを示すというものである。必要とする一般財源に対して、制度上現実に収入され得る税収入等がどれだけの大きさであるかを示す指標であるから、この指数が高いほど財政力が強いことを示す。この現実に収入され得る税収入等のうち、原則として75%を基準財政収入額対象としており、対象外の25%の部分は基準財政収入額が大きくなるほど大きくなって、一般財源総額も大きくなる。普通交付税算定上財政力指数が高いほうが、それだけ財源に余裕があるといえる。

〔※23年度の各数値は今後において変更もあり得るので、未確定数値として参照されたい。〕

ポイント①

**経常収支比率** - 財政構造の弾力性 -

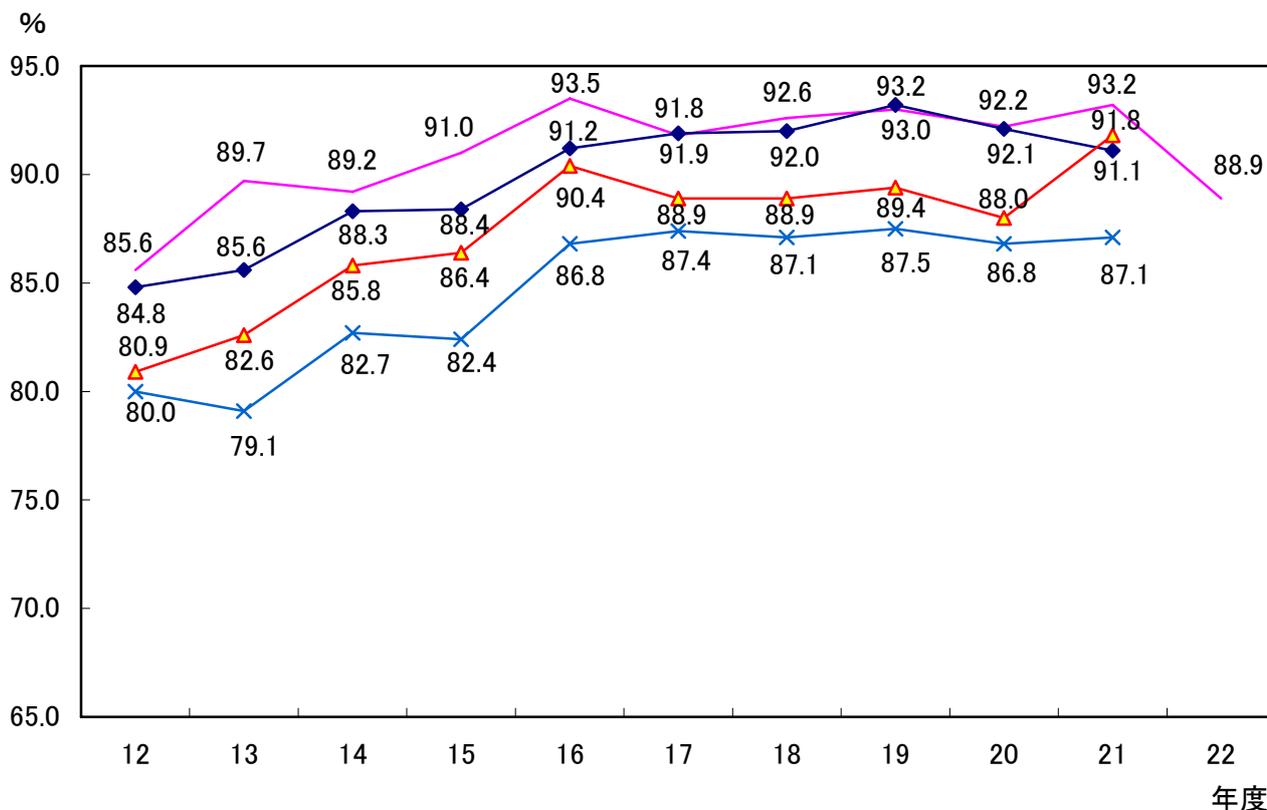
財政構造とは、歳入、歳出の各構成要素の構造的組合せをいい、財政構造の弾力性とは、歳入歳出の相関の度合い、特に経常一般財源総額と経常経費充当一般財源との割合、すなわち経常収支比率の高低によって示される。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常経費充当一般財源(A - B)}}{\text{経常一般財源(C)}} \times 100$$

(注) 13年度より分母は経常一般財源(C) + 減税補てん債 + 臨時財政対策債

		B		C	
歳入	臨時特定財源	臨時一般財源	経常特定財源	経常一般財源	
				A	
歳出	臨時的経費		経常的経費		
				経常余剰財源	

- 白鷹町
- ◆ 県内市町村平均
- ▲ 全国町村平均
- × 類似団体



原則的には、経常収支比率 70 % が望ましいラインとされ、80 % をこえると「危険ライン」とされている。財政健全性を維持させるためには、経常余剰が大きくなればなるほど比率が好転し、経済情勢の変化等に柔軟に対応でき、弾力的財政構造ということが出来る。この点から経常収支比率の内容を詳細にとらえ、増嵩している経費の抑制を計画的に進めていく必要がある。

ポイント②

**地方交付税**

・目的

地方団体の自主性を損なわずにその財源の均衡化を図り、交付基準の設定を通じて地方行政の計画的な運営を保障することにより、地方自治の本旨の実現に資するとともに、地方団体の独立性を強化すること(地方交付税法第1条)

◎財源の均衡化(財源調整機能)

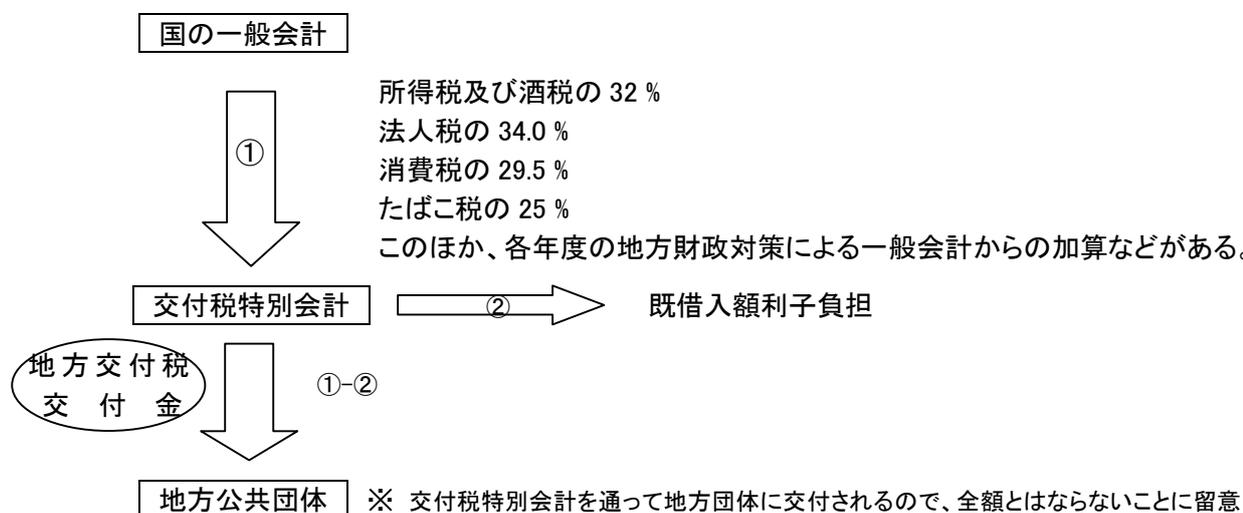
地方団体間における財政力の格差を解消するため、地方交付税の適正な配分を通じて地方団体相互間の過不足を調整し、均てん化を図る。

◎財源の保障(財源保障機能)

・マクロ…地方交付税の総額が国税5税の一定割合として法定されることにより、地方財源は総額として保障されている。

・ミクロ…基準財政需要額、基準財政収入額という基準の設定を通じて、どの地方団体に対しても行政の計画的な運営が可能となるように、必要な財源を保障する。

○交付税特別会計における資金調達の仕組み



○地方交付税の種類

- ①普通交付税 ・財源不足団体に対し交付  
・交付税総額の 94 %
- ②特別交付税 ・普通交付税で捕捉されない特別の財政需要に対し交付  
・交付税総額の 6 %

<算式>

基準財政需要額- 基準財政収入額= 交付基準額

決定額= 交付基準額- 基準財政需要額×調整率

調整率= 普通交付税の総額が財源不足額の合算額に満たない場合の調整

基準財政収入額=収入見込額×75/100(基準税率)(譲与税等※は100/100)

※地方譲与税、所得税から個人住民税への税源移譲相当額、交通安全対策特別交付金及び児童手当特例交付金

基準財政需要額算定の基礎となる主な測定単位

測定単位	費目
人口	消防費、公園費、下水道費、その他土木費、社会福祉費、保健衛生費、清掃費、商工行政費、地域振興費、地方再生対策費、包括算定経費等
児童・生徒数 学級・学校数	小学校費、中学校費
農家数	農業行政費
世帯数	徴税費、戸籍住民基本台帳費
面積	地域振興費、包括算定経費

### (3) 健全化判断比率等

#### ①概要

地方公共団体の財政の健全化に関する法律により、平成19年度から健全化判断比率及び資金不足比率について公表することとなり、平成20年度決算からは、各比率のいずれかが早期健全化基準・経営健全化基準を上回る場合には、財政状況等の早期の健全化を図るための計画策定が義務付けられた。

当町においては、実質公債費比率が高い状況にあり、平成18年度から平成25年度を期間とする公債費負担適正化計画を策定し、新たな地方債の発行抑制や公営企業の経営健全化等に取り組んできた結果、平成22年度には実質公債費比率が18%を下回る結果となり、地方債協議制度における許可団体から協議団体へ移行することとなった。今後も公債費負担適正化計画に基づき、財政の健全化に取り組んでいく。

#### ②各比率及び基準

項目	早期健全化 基準(平成22年度)	健全化判断比率		増減	備考
		22年度	21年度		
実質赤字比率	14.79	—	—	—	赤字なし
連結実質赤字比率	19.79	—	—	—	赤字なし
実質公債費比率	25.0	17.0	19.1	△2.1	
将来負担比率	350.0	85.3	105.1	△19.8	

会計	経営健全化 基準	経営健全化基準		増減	備考
		22年度	21年度		
水道事業会計	20.0	—	—	—	資金不足 なし
町立病院事業会計		—	—	—	
訪問看護ステーション事業会計		—	—	—	
下水道特別会計		—	—	—	
農業集落排水特別会計		—	—	—	

#### ③算定方法

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額(充当可能基金額+特定財源見込額)} + \text{地方債現在高等にかかる基準財政需要額算入見込額}}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$$

$$\text{実質公債費比率} \quad \text{P2参照}$$

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$

### 3 平成22年度一般会計決算

(1) 総括

(1) 収支

(単位:千円)

区 分	歳入決算	歳出決算	歳出決算 差引額	翌年度に繰り 越すべき財源	実質収支	単年度収支	実質単年度 収支
平成22年度	8,002,120	7,495,399	506,721	35,355	471,366	81,830	303,265
平成21年度	8,198,640	7,774,942	423,698	34,162	389,536	40,245	184,262

※歳入・歳出には、決算統計作成要領により控除すべきものとして定められているものを含まない。

(特徴点)

財政の健全性、弾力性、行政水準の維持などの基本原則を念頭に具体的な分析指標を検証してみると、まず、歳入総額で2.4%、歳出総額で3.6%昨年度を下回る結果となった。実質収支は黒字で、前年度実質収支を差し引いた単年度収支も81,830千円の黒字となった。財政調整基金への積立・取崩し等、将来の黒字・赤字要素を整理した実質単年度収支は、国の経済対策関連の交付金及び新たに認められた過疎対策事業債のソフト分等の有利な財源を確保しながら、将来の財政運営の機動性・柔軟性確保に向け、財政調整基金の積増し対応を図ったため、303,265千円の黒字となった。

次に、経常収支比率は88.9%で、昨年度から4.3%改善し、平成14年度決算以来8年ぶりに80%台となった。経常収支比率改善の要因は、歳出経常一般財源が、物件費や扶助費等において増加したものの、公債費の大幅な減少をはじめとして、人件費や補助費(病院)での減少などにより、全体で51,030千円の減となった一方で、歳入経常一般財源は、地方税、地方譲与税及び各種交付金の減少を、普通交付税及び臨時財政対策債の増加が大きく上回り、190,037千円の増となったためである。

公債費関係指標については、標準財政規模が拡大したことに加え、公債費が130,336千円減少したことで、公債費比率が11.1%と2.0%改善し、起債制限比率についても11.0%と1.6%改善した。両指標とも、公債費負担適正化計画の着実な推進が反映され、財政運営上の警戒ラインを下回る状況となっている。

以上、決算状況を見ると、指標的には改善が見られるものの、財政力指数は0.257と低下傾向にあり、自主財源比率の低さが本町の大きな課題である。地方財政全体が依然厳しい状況の中で、地方交付税や地方譲与税等に大きく依存している本町においては、地方財政対策の動向によっては財政運営が一気に悪化することも考えられることから、「新たな公共サービスの提供体制の構築」「新たな雇用創出と産業化の推進」「効率的な行財政運営の推進」を基本方針とした行財政改革の着実な推進を図るとともに、中・長期的な財政計画のもと健全な財政運営に努めて行く必要がある。

(2) 主な財政分析指標

(単位:%)

区 分	平成22年度	平成21年度	
実質収支比率	8.8	7.5	
経常収支比率	(95.6) 88.9	(98.8) 93.2	
うち	人件費	(22.6) 21.0	(23.4) 22.1
	物件費	(8.3) 7.7	(7.4) 6.9
	扶助費	(5.3) 4.9	(4.7) 4.4
	補助費等	(14.2) 13.2	(15.4) 14.5
	公債費	(25.2) 23.5	(28.5) 26.9
	繰出金	(16.0) 14.9	(15.6) 14.7
	公債費負担比率	(19.2) 19.2	(21.8) 21.8
起債制限比率	11.0	12.6	
財政力指数	0.26	0.27	
公債費比率	11.1	13.1	

(3) 将来にわたる財政負担

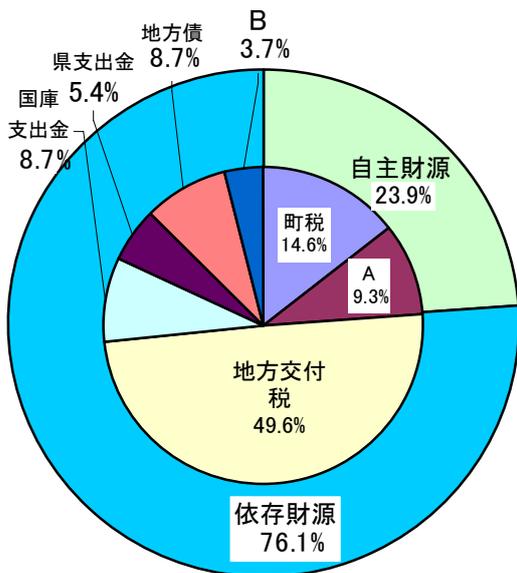
(単位:千円)

区 分	平成22年度	平成21年度	
地方債現在高(A)	7,847,651	8,322,165	
債務負担行為の翌年度 以降支出予定額(B)	674,434	608,797	
積立金現在高(C)	1,301,128	931,535	
うち	財政調整基金	569,835	348,400
	減債基金	221,615	220,650
	その他特定目的基金	509,678	362,485
(A)+(B)-(C)	7,220,957	7,999,427	
標準財政規模(D)	5,332,011	5,208,038	
[(A)+(B)]/(D)	1.598	1.715	

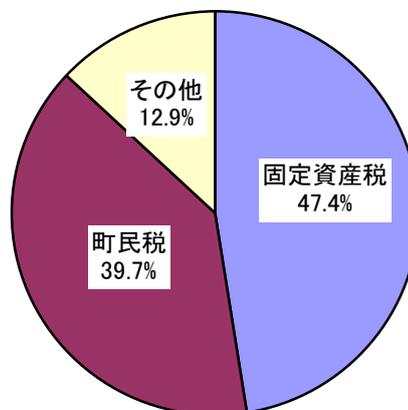
- ※1 標準財政規模は、臨時財政対策債発行可能額を含めて算出している。
- ※2 実質収支比率は、標準財政規模に臨時財政対策債発行可能額を含めて算出している。
- ※3 経常収支比率の( )は、「減税補てん債及び臨時財政対策債」を経常一般財源等から除いた比率
- ※4 公債費負担比率の( )は、「繰上償還」を除いた場合の比率

(2) 歳入内訳

財源内訳



町税内訳



財源の内訳

(単位:千円、%)

区 分		21年度		22年度		
		決算額	構成比	決算額	構成比	
自主財源	町	1,214,728	14.8	1,166,220	14.6	
	A	分 担 金 ・ 負 担 金	44,622	0.5	44,634	0.6
		使 用 料	112,484	1.4	109,692	1.4
		手 数 料	10,935	0.1	10,916	0.1
		財 産 収 入	8,072	0.1	6,941	0.1
		寄 附 金	6,106	0.1	6,648	0.1
		繰 越 金	383,392	4.7	423,698	5.3
		諸 収 入 金	111,317	1.4	108,208	1.4
		繰 入 金	118,606	1.4	24,586	0.3
		計	2,010,262	24.5	1,901,543	23.9
依存財源	地 方 交 付 税	3,753,815	45.8	3,966,246	49.6	
	国 庫 支 出 金	951,110	11.6	699,094	8.7	
	県 支 出 金	439,553	5.4	430,405	5.4	
	地 方 債	730,300	8.9	695,100	8.7	
	B	地 方 譲 与 税	118,579	1.4	114,824	1.4
		利 子 割 交 付 金	4,563	0.1	3,981	0.0
		配 当 割 交 付 金	1,291	0.0	1,495	0.0
		株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	495	0.0	449	0.0
		地 方 消 費 税 交 付 金	132,324	1.6	132,097	1.7
		自 動 車 取 得 税 交 付 金	30,737	0.4	26,513	0.3
		交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,005	0.0	3,014	0.0
		地 方 特 例 交 付 金	22,606	0.3	27,359	0.3
	計	6,188,378	75.5	6,100,577	76.1	
合 計	8,198,640	100.0	8,002,120	100.0		

表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計が一致しない場合がある。

※歳入・歳出には、決算統計作成要領により控除すべきものとして定められているものを含まない。

## 町税内訳

(単位:千円、%)

区 分	21年度		22年度		
	決算額	構成比	決算額	構成比	
町 民 税	502,209	41.3	462,393	39.7	
個人均等割	22,091	1.8	21,688	1.9	
所得割	437,126	36.0	391,301	33.6	
法人均等割	27,654	2.3	27,937	2.4	
法人税割	15,338	1.3	21,467	1.8	
固 定 資 産 税	559,874	46.1	552,995	47.4	
土 地	179,279	14.8	175,456	15.0	
家 屋	285,711	23.5	290,267	24.9	
償却資産	91,794	7.6	84,603	7.3	
交付金・納付金	3,090	0.3	2,669	0.2	
そ の 他	152,645	12.6	150,832	12.9	
合 計	1,214,728	100.0	1,166,220	100.0	
その他内訳	軽自動車税	37,057	3.1	37,217	3.2
	たばこ税	62,612	5.2	62,828	5.4
	入湯税	9,141	0.8	7,637	0.7
	都市計画税	43,835	3.5	43,150	3.6
	土 地	21,460	1.8	20,547	1.7
家 屋	22,375	1.8	22,603	1.9	

表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計が一致しない場合がある。

## 町税の課税状況

(単位:千円)

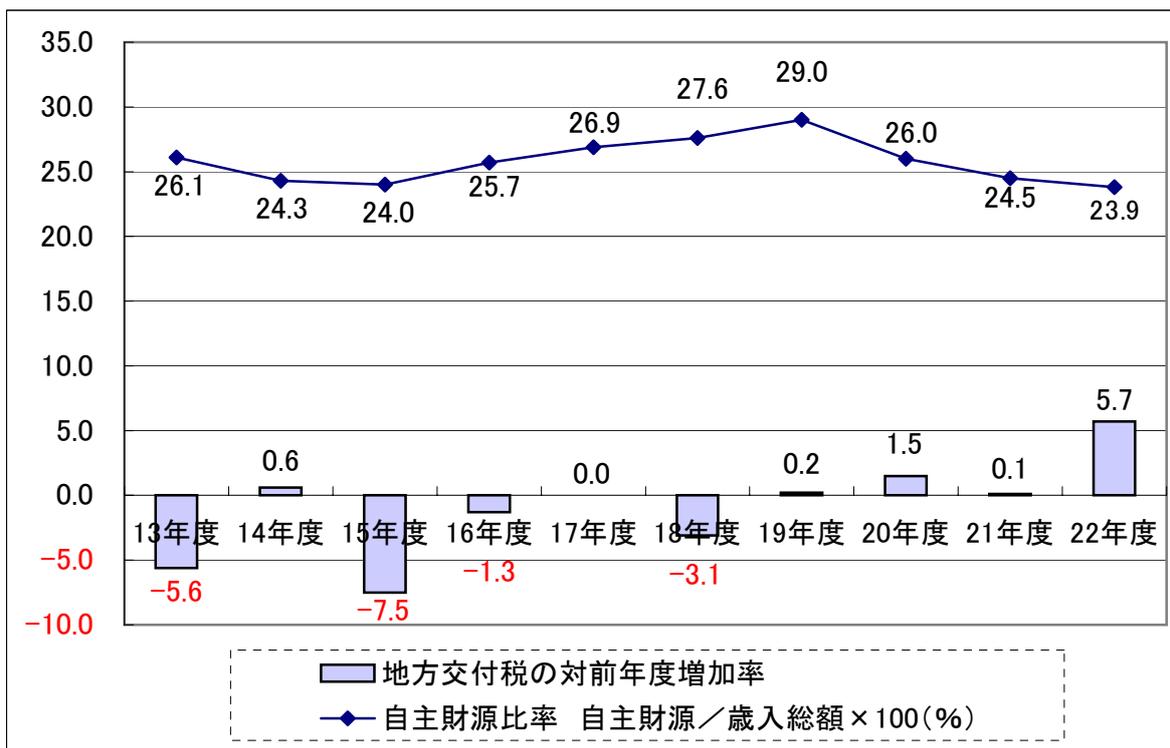
区分	調定済額 現年度分・ 滞納分計	収入済額 現年度分・ 滞納分・計	徴収率(%)	備 考
町 民 税	489,850	462,393	94.4	○個人町民税 納税義務者 7,197人
固 定 資 産 税	622,940	552,995	88.8	
軽 自 動 車 税	40,309	37,217	92.3	○固定資産税 納税義務者 7,092人 土地 4,927人 家屋 5,665人 (法定免税点以上の者)
市 町 村 たばこ税	62,828	62,828	100.0	
入 湯 税	7,637	7,637	100.0	
都 市 計 画 税	49,221	43,150	87.7	○都市計画税 納税義務者 1,817人
合 計	1,272,785	1,166,220	91.6	

区 分		税率%	納税義務者数	区分	資本金	従業員数	税額	納税義務者数
町 民 税	個人均等割	3,000円	7,197人	法人均等割	50億円超	50人超	300万円	1人
					10億円超50億円以下	50人超	175万円	1人
					10億円以下	50人以下	41万円	11人
	個人所得割	6%	5,951人		1億円超10億円以下	50人超	40万円	1人
					1億円以下	50人以下	16万円	6人
					1千万円超1億円以下	50人超	15万円	9人
	法人税割	13.50%	86人		1千万円超1億円以下	50人以下	13万円	55人
					1千万円以下	50人超	12万円	3人
					上記以外の法人		5万円	174人
純固定資産税		1.40%	7,092人					
都市計画税		0.30%	1,817人					

※ ポイント③

**自主財源比率**

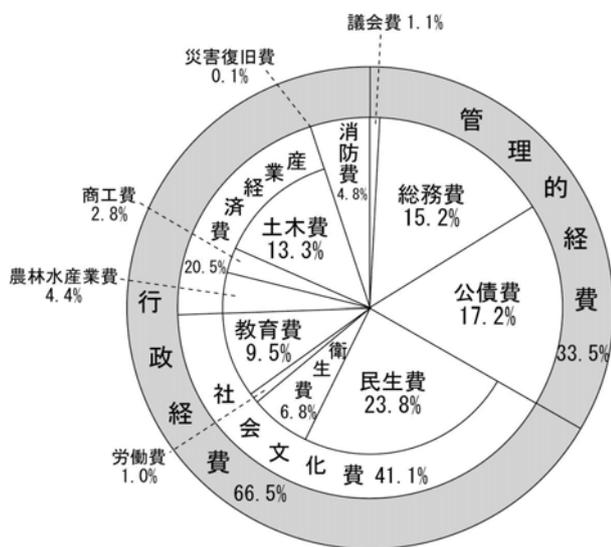
歳入総額中に占める自主財源の多寡をもって当該団体の財政基盤の安定性及び行政活動の自律性を測る尺度の一つである。



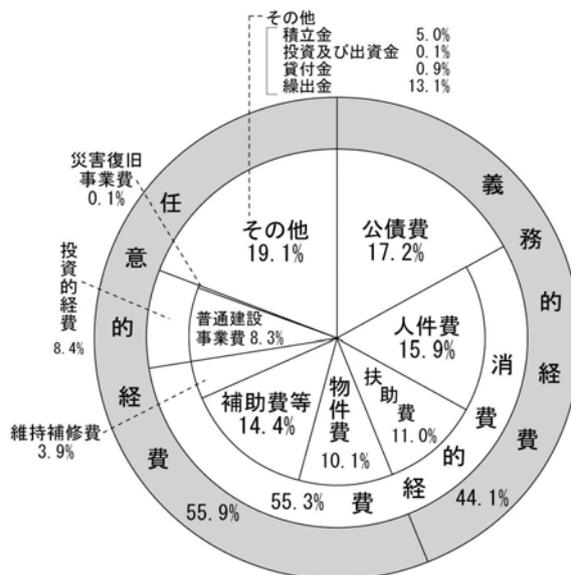
地方交付税による財源調整を前提とする現行制度のもとにおいては、自主財源比率の高さが無条件に財政運営全体の健全性、安定性に直結するものではないが、地方公共団体がそれぞれの地域の実態に即して自主的にその行政を進めていくためには、地方行政に要する経費はできるかぎり地方公共団体の自主財源をもってまかなうことが望ましいとされている。自主財源への充実強化への配慮が課題である。

(3) 歳出内訳

〔目的別内訳〕



〔性質別内訳〕



その他  
 積立金 5.0%  
 投資及び出資金 0.1%  
 貸付金 0.9%  
 繰出金 13.1%

臨時的経費と経常的経費

(単位: 千円、%)

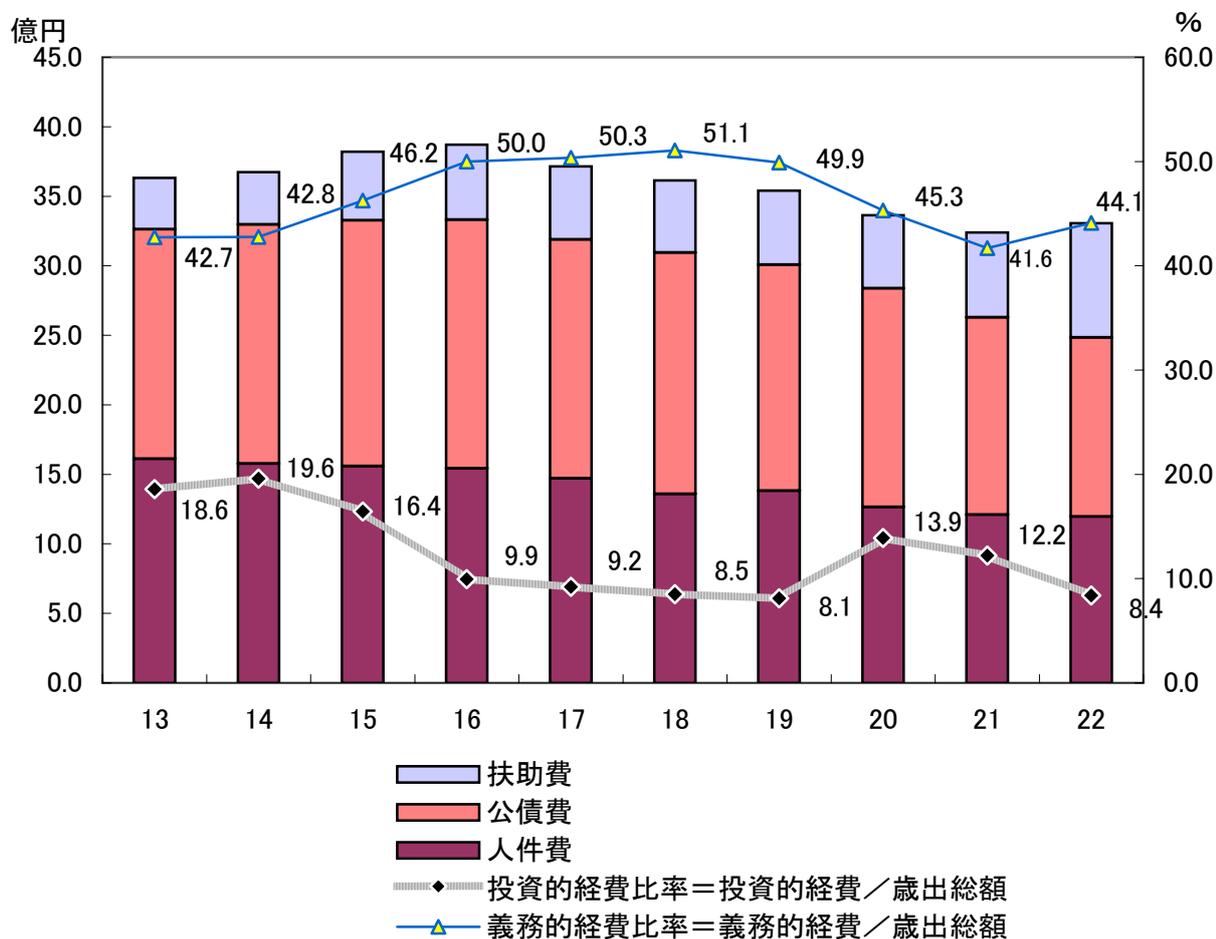
区分	決算額	臨時的なもの		経常的なもの		備考
		特定財源	一般財源	特定財源	一般財源	
歳入	8,002,120	612,871	1,565,989	819,960	① 5,003,300	
構成比	100.0	7.6	19.6	10.3	62.5	
歳出	7,495,399	593,173	1,282,960	837,622	② 4,781,644	
構成比	100.0	7.9	17.1	11.2	63.8	

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{②}}{\text{①} + \text{臨時財政対策債 (373,567)}} \times 100 = 88.9\% \text{ (H21年度は } 93.2\%)$$

ポイント④

**義務的経費比率**

地方公共団体の歳出のうち、極めて硬直性の強い経費であって、法令の規定あるいは性質上、支出が義務づけられ、任意に削減できない経費の指標である。



人件費、扶助費、公債費等の義務的経費は、建設事業費や物件費に比べその歳出の額を調整(減額、増額の抑制)することが困難な経費だけに弾力性に乏しく、それらの歳出決算額に占める構成比が高くなるほど財政構造が健全でなくなると考えられる。

区分	21年度			22年度			
	決算額	構成比率	前年比	決算額	構成比率	前年比	
義務的経費	人件費	1,210,260	15.6	△ 4.3	1,195,817	15.9	△ 1.2
	扶助費	610,395	7.8	16.2	821,572	11.0	34.6
	公債費	1,418,051	18.2	△ 9.9	1,287,715	17.2	△ 9.2
小計	3,238,706	41.6	△ 3.7	3,305,104	44.1	2.1	
投資的経費	946,499	12.2	△ 8.6	631,623	8.4	△ 33.3	
その他の経費	3,589,737	46.2	18.3	3,558,672	47.5	△ 0.9	
合計	7,774,942	100.0	4.6	7,495,399	100.0	△ 3.6	

① 一般会計決算歳出入内訳及び財源内訳

(単位:千円、%)

目的別 性質別	財源内訳											前年度比	構成比	前年度比						
	議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農林 水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	災害 復旧費				公債費	合計	構成比	前年度比		
人件費	76,925	431,469	215,002	48,424	6,340	81,888	29,792	47,971	18,950	239,056			1,195,817	15.9	△ 1.2	44,095	1,146,139	18.9	△ 1.3	
物件費	4,081	229,802	100,658	81,724	34,489	15,513	40,291	14,960	6,317	233,360			761,195	10.1	10.3	72,920	612,143	10.1	14.4	
維持補修費		10,499	3,732	2,435		4,633	7,764	229,333	1,402	30,466			290,264	3.9	33.6	11,525	262,661	4.3	24.3	
扶助費			817,658	27						3,887			821,572	11.0	34.6	473,804	273,571	4.5	18.4	
補助費等	2,424	89,751	93,889	360,752	860	125,475	50,809	1,694	289,061	63,962			1,078,677	14.4	△ 20.4	99,390	901,771	14.9	△ 8.1	
国県に 対するもの		312	7,189	795		40			461	370			9,167	0.1	40.0		9,167	0.2	40.0	
一部事務組 合		57,553	27,880	92,987		1,326			273,890				453,636	6.1	3.0	5,443	8,339	430,054	7.1	1.4
その他	2,424	31,886	58,820	266,970	860	124,109	50,809	1,694	14,710	63,592			615,874	8.2	△ 32.1	93,947	462,550	7.6	△ 16.0	
普通建設事業		21,236	4,095			28,073	44,560	352,765	44,978	129,798			625,505	8.3	△ 33.7	33,353	220,364	5.8	31.0	
補助事業		6,590	3,139			5,618		77,796	11,825				104,968	1.4	△ 76.0	29,460	3,550	0.0	△ 77.0	
単独事業		14,646	956			15,442	44,560	241,682	33,153	129,798			480,237	6.4	7.3	3,893	126,764	5.7	37.4	
県事業負担 金						7,013	33,287						40,300	0.5	△ 31.1		4,000	0.1	55.1	
災害復旧費										6,118			6,118	0.1	128.2			0.1	128.2	
公債費												1,287,715	1,287,715	17.2	△ 9.2		24,733	1,262,982	20.8	△ 9.5
投資及び出資金													11,033	0.1	0.1			11,033	0.2	0.1
積立金		359,158	443	1	22	44							374,453	5.0	42.1		10,453	334,000	5.5	30.8
貸付金					30,000		33,000						63,000	0.9	△ 4.1		63,000			
繰出金			549,301	6,682		70,537		353,447		83			980,050	13.1	△ 0.8		167	903,883	14.9	△ 1.5
繰上金																				
合計	83,430	1,141,915	1,784,778	511,078	71,711	326,163	206,216	1,000,170	360,708	715,397	6,118	1,287,715	7,495,399	100.0	△ 3.6	811,087	298,144	6,064,604	100.0	1.6
構成比	1.1	15.2	23.8	6.8	1.0	4.4	2.8	13.3	4.8	9.5	0.1	17.2	100.0							
前年度比	△ 3.6	△ 7.4	14.3	△ 7.7	8.1	△ 14.9	26.9	4.0	1.8	△ 27.9	128.2	△ 9.2	△ 3.6							
国県支出金		53,587	582,601	7,922	33,963	99,571	1,031	19,728	6,322	6,362			811,087							
地方債		30,000	8,700	3,800		6,500	19,100	165,264	42,600	45,600			321,564							
その他		30,421	117,317	2,487	30,044	917	37,264	28,250	24	26,687		24,733	298,144							
財源内訳																				
特定財源																				
一般財源	83,430	1,027,907	1,076,160	496,869	7,704	219,175	148,821	786,928	311,762	636,748	6,118	1,262,982	6,064,604							
構成比	1.4	17.0	17.7	8.2	0.1	3.6	2.5	13.0	5.1	10.5	0.1	20.8	100.0							
前年度比	△ 3.6	13.5	4.6	△ 9.0	△ 41.6	4.7	19.1	12.7	△ 6.7	2.0	128.2	△ 9.5	1.6							

② 人件費及び職員数

(単位:千円)

区 分	20年度		21年度		22年度	
		構成比		構成比		構成比
1. 議員報酬手当	55,618	4.4	55,545	4.6	53,511	4.5
2. 委員等報酬	49,501	3.9	49,688	4.1	53,062	4.4
3. 町長等特別職の給与	19,837	1.6	12,626	1.0	17,458	1.4
4. 職員給	830,800	65.6	784,857	64.9	760,237	63.6
5. 地方公務員共済組合等負担金	159,447	12.6	167,074	13.8	175,605	14.7
6. 退職手当組合負担金	147,929	11.7	138,310	11.4	133,867	11.2
7. 災害補償費	691	0.1	903	0.1	858	0.1
8. 職員互助会補助金	1,271	0.1	1,257	0.1	1,219	0.1
9. その他						
人件費合計	1,265,094	100.0	1,210,260	100.0	1,195,817	100.0
事業費支弁職員人件費 (投資的経費)	補助事業	10,824	15,304	3,054		
	単独事業	12,404	15,258	15,331		
	計	23,228	30,562	18,385		
合計	1,288,322		1,240,822		1,214,202	

区 分	21年4月1日			22年4月1日			23年4月1日		
	本庁	施設関係	計	本庁	施設関係	計	本庁	施設関係	計
職員数(人)	議会関係	2	2	2	2	2	2	2	2
	総務関係	28	28	27	27	27	27	27	27
	税務関係	13	13	12	12	12	12	12	12
	民生関係	10	21	31	10	19	29	9	18
	衛生関係	9	9	8	8	8	8	8	8
	農林水産業関係	11	11	11	11	11	11	11	11
	商工労働関係	6	6	5	5	5	5	5	5
	土木関係	8	8	8	8	8	9	9	9
	教育関係	13	13	26	13	14	27	12	14
	合計	100	34	134	96	33	129	95	32

③ 物件費

(単位:千円、%)

区 分	決 算 額			うち経常的なもの		
	21年度	22年度	対前年度伸率	21年度	22年度	対前年度伸率
1. 賃 金	97,202	94,883	△ 2.4	78,743	72,849	△ 7.5
2. 旅 費	8,428	8,187	△ 2.9	4,968	5,446	9.6
3. 交 際 費	1,311	1,157	△ 11.7	1,311	1,157	△ 11.7
4. 需 用 費	162,662	173,406	6.6	147,395	156,995	6.5
5. 役 務 費	25,728	27,583	7.2	23,028	25,780	12.0
6. 備品購入費	39,454	24,166	△ 38.7	7,953	8,277	4.1
7. 委 託 料	303,938	377,197	24.1	150,706	182,455	21.1
8. そ の 他	51,114	54,616	6.9	26,877	34,547	28.5
合計	689,837	761,195	10.3	440,981	487,506	10.6

④ 維持補修費

(単位:千円、%)

区 分	金 額			区 分	金 額		
	21年度	22年度	対前年度伸率		21年度	22年度	対前年度伸率
1. 総 務 費	9,104	10,499	15.3	(3) 河 川	525	668	27.2
2. 民 生 費	3,992	3,732	△ 6.5	(4) 都市計画	21,274	20,806	△ 2.2
3. 衛 生 費	502	2,435	385.1	(5) 住 宅	1,518	949	△ 37.5
4. 農林水産業費	2,885	4,633	60.6	7. 消 防 費	402	1,402	248.8
うち林道	2,837	3,644	28.4	8. 教 育 費	44,954	30,466	△ 32.2
5. 商 工 費	7,008	7,764	10.8	(1) 小 学 校	11,467	11,916	3.9
6. 土 木 費	148,489	229,333	54.4	(2) 中 学 校	10,008	4,579	△ 54.2
(1) 道 路	124,660	206,380	65.6	(3) 社会教育	9,266	6,099	△ 34.2
うち除雪費	110,697	173,998	57.2	(4) そ の 他	14,213	7,872	△ 44.6
(2) 橋りょう	512	530	3.5	9. そ の 他			
				合 計	217,336	290,264	33.6

⑤ 扶助費

(単位:千円、%)

区 分	決 算 額			22年度財源内訳				
	21年度	22年度	対前年度伸率	国庫支出金	県支出金	その他特定財源	一般財源	
民 生 費	社 会 福 祉 費	246,266	284,331	15.5	101,150	84,481	8,700	90,000
	老 人 福 祉 費	36,025	39,025	8.3			6,319	32,706
	児 童 福 祉 費	324,115	494,302	52.5	234,028	54,123	59,178	146,973
	小 計	606,406	817,658	34.8	335,178	138,604	74,197	269,679
	衛 生 費		27		9		18	
	教 育 費	3,989	3,887	△ 2.6	13		3,874	
	合 計	610,395	821,572	34.6	335,191	138,613	74,197	273,571

⑥ 補助費等

(単位:千円、%)

区 分	決 算 額				う ち 経 常 的 な も の				
	21年度	対前年度伸率	22年度	対前年度伸率	21年度	対前年度伸率	22年度	対前年度伸率	
1 負担金・寄附金	国・県に対するもの	1,491	35.9	1,692	13.5	306		178	△ 41.8
	一部事務組合に対するもの	440,543	6.2	453,636	3.0	425,926	△ 0.8	417,235	△ 2.0
	そ の 他	27,315	4.8	29,306	7.3	11,246	20.3	10,044	△ 10.7
	計	469,349	6.1	484,634	3.3	437,478	△ 0.3	427,457	△ 2.3
2. 補助交付金	327,555	△ 6.6	67,089	△ 79.5	325	△ 11.5	467	43.7	
3. 加入団体に対する還付金									
4. そ の 他	557,593	8.1	526,954	△ 5.5	397,121	46.5	364,923	△ 8.1	
計	1,354,497	6.7	1,078,677	△ 20.4	834,924	15.8	792,847	△ 5.0	

補助費等の内容

- 国・県に対するもの  
過年度分の補助金等の償還金他
- 負担金・寄附金のその他  
町村会等、町長が構成員になっている各種協議会・団体等に対する負担金他
- 補助交付金  
※平成21年度は、定額給付金等の特殊要因があった。
- その他  
会議費負担金、報償費、区長会等、町事業のための補助金他

(一部事務組合に対する当町負担金の使途)

(単位:千円)

区 分	置賜広域行政 事 務 組 合				西 置 賜 行政組合	山 形 県 消 防 補 償 等 組 合	山 形 県 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合	合 計
	小 計	(電算等)	(長井クリーンセンター) (千代田クリーンセンター) (最終処分場) (汚泥再生処理センター)	(死亡獣畜保冷センター)				
1. 人 件 費	39,523	12,700	26,823		232,725	14	9	272,271
2. 物 件 費	62,890	40,949	21,096	845	20,797	58	174	83,919
3. 維 持 補 修 費	2,366	15	2,351		416			2,782
4. 扶 助 費	487	110	377		2,670			3,157
5. 補 助 費 等	4,216	4,158	58		1,843	14,233	1,873	22,165
6. 公 債 費	36,980		36,980		14,151			51,131
(1) 元 利 償 還 金	36,980		36,980		14,151			51,131
(2) 一 時 借 入 金 利 子								
7. 積 立 金	1,066	1,066				86		1,152
8. 前 年 度 繰 上 充 用 金								
9. 投 資 的 経 費 (普 通 建 設 事 業 費)	4,338	49	4,289		12,721			17,059
う ち 単 独 事 業 費	1,752	49	1,703		10,467			12,219
計	151,866	59,047	91,974	845	285,323	14,391	2,056	453,636

⑦ 公債費

(単位:千円)

区 分	金 額	備 考
起 債 償 還 元 金	1,169,614	公債費比率 11.1%
起 債 償 還 利 子	117,586	起債制限比率 11.0%
一 時 借 入 金 利 子	515	実質公債費比率 17.0%
計	1,287,715	一時借入金借入額 (最大借入時借入額) 1,069,000

一時借入金借入額(最大借入時借入額)のうち、金融機関からの借入が500,000千円、その他は基金の繰り替え運用によるもの。

⑧ 積立金及び基金

(単位:千円)

区 分	21年度 末現在高	22 年 度		22 年 度 末現在高	備 考	
		増	減			
財 政 調 整 基 金	348,400	221,435		569,835	積立基金	
須藤恒雄生涯教育推進基金	21,500	76	76	21,500	積立基金	
井上壮吉生涯教育推進基金	10,000	35	35	10,000	積立基金	
町営体育館建設基金	106,564	460		107,024	積立基金	
町スポーツ振興基金	60,117	213	213	60,117	積立基金	
公共施設整備基金	39,387	100,159		139,546	積立基金	
土 地 開 発 基 金	228,767	4,161	4,077	228,851	定額運用基金	
	土 地	211,089		4,077		207,012
	現 金	17,678	4,161			21,839
生 涯 学 習 推 進 基 金	31,029	646	563	31,112	定額運用基金	
	運 用 分	695	563	132		
	現 金	30,334	646			30,980
地 域 振 興 基 金	10,941	45		10,986	積立基金	
福 祉 振 興 基 金	102,550	443	443	102,550	積立基金	
減 債 基 金	220,650	965		221,615	積立基金	
勤 労 者 福 利 厚 生 基 金	6,103	22	22	6,103	積立基金	
環 境 教 育 基 金	190	1	191	0	平成22年度末で廃止	
ふ る さ と 応 援 基 金	5,133	6,599	3,880	7,852	積立基金	
白 鷹 人 育 成 基 金		30,000		30,000	積立基金	
町 史 編 さ ん 基 金		14,000		14,000	積立基金	
合 計	1,191,331	379,260	9,500	1,561,091		

⑨ 投資及び出資金(22年度出資金等)

(単位:千円)

区 分	内 容	金 額	備 考
衛 生 費	水道事業会計へ	1,033	他に補助金等
	病院事業会計へ	10,000	他に補助金等
合 計		11,033	

⑩ 貸付金

(単位:千円)

区分	内 容	平成21年度 末貸付残高	平成22年度		平成22年度 末貸付残高
			貸付額	回収元金	
民生費	高齢者住宅整備資金貸付	4,864		805	4,059
	地域総合整備資金貸付	17,000		2,000	15,000
	計	21,864	0	2,805	19,059
衛生費	地域総合整備資金貸付	109,337		11,618	97,719
労働費	勤労者生活安定資金貸付		25,000	25,000	0
	県労働者信用基金協会貸付		5,000	5,000	0
商工費	地域総合整備資金貸付	10,850		4,332	6,518
	産業立地促進資金貸付		33,000	33,000	0
	計	10,850	33,000	37,332	6,518
合 計		142,051	63,000	81,755	123,296

⑪ 繰出金

(単位:千円)

区分	内 容	金 額	備 考
民生費	老人保健特別会計へ繰出	805	平成22年度末で特別会計廃止
	国民健康保険特別会計へ繰出	98,028	人件費分含む
	後期高齢者医療特別会計へ繰出	220,313	人件費及び広域連合への負担金含む
	介護保険特別会計へ繰出	197,968	人件費分含む
	介護サービス事業勘定分	32,187	〃
衛生費	農業集落排水特別会計へ繰出	6,682	個別排水処理施設事業 特定地域生活排水処理事業
農林水産業費	農業集落排水特別会計へ繰出	70,537	
土木費	土地開発基金	84	
	下水道特別会計へ繰出	353,363	
教育費	生涯学習推進基金	83	
合 計		980,050	

平成22年度主な投資的事業(普通建設事業)と財源内訳

(単位:千円)

事業名	補助・単独	事業費	財源内訳				備考
			国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	
地球温暖化対策等推進基金事業	補助	2,449	2,400			49	
保育所等環境改善事業	補助	3,139	3,139			0	
経営体交付金事業	補助	4,253	4,253			0	
仲佐和ため池整備事業 (県営事業負担金)	単独	2,400		2,100		300	一般公共事業債
農業用河川工作物応急対応事業 (県営事業負担金)	単独	1,313		1,100		213	一般公共事業債
白鷹地区基幹水利施設ストックマネジメント事業 (県営事業負担金)	単独	3,300		3,300		0	過疎債
畜産規模拡大支援事業	単独	3,399	3,399			0	
産業センター整備事業	単独	38,307	※ <sup>1</sup> (36,400)			38,307 (1,907)	地域活性化・きめ細かな臨時交付金は、決算統計上一般財源となる。H21明線分。
伝統工芸の村改修事業	単独	4,690	※ <sup>1</sup> (4,600)			4,690 (90)	地域活性化・きめ細かな臨時交付金は、決算統計上一般財源となる。H21明線分。
道路改良事業 (赤坂深山線・交付金事業分)	単独	136,544	※ <sup>3</sup> (88,498)	47,300		89,244 (746)	過疎債。地域活力基盤創造交付金及び社会資本整備総合交付金は、決算統計上一般財源となる。H21明線分含む。
道路改良事業 (荒砥駅本宿線)	単独	10,389		10,300		89	過疎債
道路改良事業 (浅立沼田岩崎線)	単独	11,041		11,000		41	過疎債
四季の郷住宅整備事業	補助	75,086	8,228	52,200		14,658	過疎債
防火水槽新設事業	補助	10,218	5,108	5,100		10	過疎債
消防ポンプ自動車購入事業	単独	17,860		17,100		760	施設整備事業債(一財化分) 過疎債
スクールバス導入事業 (交付金事業分)	単独	12,883	※ <sup>3</sup> (8,230)	4,400		8,483 (253)	過疎債。地域活力基盤創造交付金は、決算統計上一般財源となる。H21明線分。
スクールバス車庫整備事業	単独	30,316	※ <sup>1</sup> (28,500)			30,316 (1,816)	地域活性化・きめ細かな臨時交付金は、決算統計上一般財源となる。H21明線分。
蚕桑小学校プール改修事業	単独	7,578	※ <sup>2</sup> (7,578)			7,578 (0)	地域活性化・経済危機対策臨時交付金は、決算統計上一般財源となる。H21明線分。
調理場施設整備事業	単独	13,996		13,800		196	過疎債

※1 地域活性化・きめ細かな臨時交付金

※2 地域活性化・経済危機対策臨時交付金

※3 地域活力基盤創造交付金及び社会資本整備総合交付金

#### 4 公債費と地方債残高

国の財政投融资計画、地方債計画等により、投資的事業の財源として発行された起債は、その後数年間で償還しなければならぬ。現在、国・地方を問わず起債の償還、つまり公債費が財政を圧迫し、財政危機の大きな要因となっているのは、周知の事実である。公債費がどれだけ財政を圧迫しているか、将来の財政への影響等をみる指標として公債費比率や地方債現在高などがある。平成22年度においては、公債費比率11.1%と2%改善し、起債制限比率は11%と1.6%改善した。地方債現在高は5.7%の減少となった。今後とも計画的かつ適切な起債管理を進める必要がある。

##### 平成22年度地方債の状況

区分	平成21年度		平成22年度		平成22年度元利償還金		Dの財源内訳		差引現在高		平成22年度		E借入先別内訳	
	未現在高A	発行額B	元金C	利子	計D	特定財源	一般財源	A+B-C=E	未財源対策債現在高	政府資金	その他			
1 一般公共事業債	297,840	3,200	58,865	4,840	63,705		63,705	242,175		242,175				
2 公営住宅建設事業債	47,536		8,178	1,174	9,352	6,599	2,753	39,358		39,358				
3 災害復旧事業債	42,573		8,084	560	8,644		8,644	34,489		34,489				
4 教育・福祉施設等整備事業債	482,696	12,000	70,066	7,817	77,883	814	77,069	424,630	31,797	100,497	324,133			
5 一般単独事業債	736,799	9,500	146,998	14,738	161,736	16,668	145,068	599,301	61,306	201,855	397,446			
6 辺地対策事業債	8,200		979	103	1,082		1,082	7,221		7,221				
7 過疎対策事業債	3,845,737	296,900	692,944	46,014	738,958	652	738,306	3,449,693		3,419,693	30,000			
8 国の予算貸付・政府関係機関貸付債	15,055		1,458	310	1,768		1,768	13,597			13,597			
9 財源対策債	113,465		20,362	1,936	22,298		22,298	93,103		71,562	21,541			
10 臨時財政特例債	7,350		1,177	300	1,477		1,477	6,173		6,173				
11 減税補てん債	253,951		32,130	3,298	35,428		35,428	221,821		221,821				
12 臨時税収補てん債	51,226		5,966	995	6,961		6,961	45,260		45,260				
13 臨時財政対策債	2,092,063	373,500	91,996	28,742	120,738		120,738	2,373,567		1,246,951	1,126,616			
14 都道府県貸付金	57,444		17,641	380	18,021		18,021	39,803			39,803			
15 その他	270,230		12,770	6,379	19,149		19,149	257,460		168,500	88,960			
合計(1～15)	8,322,165	695,100	1,169,614	117,586	1,287,200	24,733	1,262,467	7,847,651	93,103	5,805,555	2,042,096			

(単位:千円)

借入先別地方債残高

(単位:千円)

区分	平成21年度 未現在高A	平成22年度 発行額B	平成22年度 償還元金額C	差引現在高 A+B-C=D	Dの利率別内訳													
					1.5%以下	2.0%以下	2.5%以下	3.0%以下	3.5%以下	4.0%以下	4.5%以下	5.0%以下	5.5%以下	6.0%以下	6.5%以下	7.0%以下	7.0%超	
1 政府資金	6,356,750	418,700	969,895	5,805,555	4,319,593	1,208,038	101,849	35,618	20,393	5,887	106,645	4,782	2,750					
(1)財政融資資金	4,978,867	418,700	657,704	4,739,863	3,633,699	851,416	101,849	35,618	20,393	5,887	83,469	4,782	2,750					
うち旧資金運用部資金	991,183		334,108	657,075		453,384	48,792	35,618	20,393	5,887	83,469	4,782	2,750					
うち旧還元融資資金																		
(2)旧郵政公社資金	1,377,883		312,191	1,065,692	685,894	356,622					23,176							
(ア)旧郵便貯金資金	219,588		16,586	203,002	179,732	23,270												
(イ)旧簡易生命保険資金	1,158,295		295,605	862,690	506,162	333,352					23,176							
2 地方公共団体金融機構資金	473,990	224,900	43,796	655,094	414,949	72,919	18,021	13,621	66,805	32,503	33,999	2,277						
3 国の予算貸付・政府関係機関貸付	15,055		1,458	13,597		11,597						2,000						
4 市中銀行	807,912	9,500	79,330	738,082	305,056	376,806	56,220											
5 その他金融機関	602,675	30,000	53,329	579,346	376,946	202,400												
6 共済等	8,340	12,000	4,166	16,174	12,000		4,174											
7 その他	57,443		17,640	39,803	39,803													
合計(1~7)E	8,322,165	695,100	1,169,614	7,847,651	5,468,347	1,871,760	176,090	53,413	87,198	38,390	140,644	9,059	2,750					

元利償還金、起債制限比率の状況

(単位:千円)

区分	年度											
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		
一般会計額	借入額①	1,208,434	1,358,700	1,146,300	939,922	558,178	512,500	496,800	880,600	730,300	695,100	
	元金②	1,301,429	1,404,435	1,491,890	1,540,330	1,504,283	1,545,961	1,460,014	1,426,967	1,286,293	1,169,614	
	子	348,283	315,487	276,340	248,109	213,630	189,366	166,130	145,704	131,373	117,586	
	計(②+③)④	1,649,712	1,719,922	1,768,230	1,788,439	1,717,913	1,735,327	1,626,144	1,572,671	1,417,666	1,287,200	
繰上償還額	年度末残高⑤	13,359,038	13,313,303	12,967,713	12,367,305	11,421,200	10,387,739	9,424,525	8,878,158	8,322,165	7,847,651	
	償還額⑥	30,360	30,360	12,393	35,676			490	572	636		
公営企業償還額⑦	3,255	3,455	3,714	3,713	2,416	2,623	2,521	2,315	2,081	1,768		
元利償還額特定財源⑧	24,528	27,766	24,651	25,715	24,190	17,718	17,511	18,957	22,332	24,733		
元利償還金一般財源⑨(④-⑥-⑦-⑧)	1,621,929	1,658,341	1,727,472	1,723,335	1,691,307	1,714,986	1,605,622	1,550,827	1,392,617	1,260,699		
元利償還金が地方交付税(公債費分)に算入される額	元利償還金⑩	28,605	29,391	24,674	20,083	15,450	10,270	10,079	10,720	11,280	7,860	
	元利償還金⑪	4,091	3,017						71	86	866	
	元利償還金⑫	529,881	563,569	622,992	656,521	655,440	664,981	654,276	655,997	592,083	515,089	
	元利償還金⑬	101,285	119,252	125,754	123,829	134,443	154,814	187,269	206,950	215,282	228,377	
事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費	元利償還金⑭(⑩+⑪+⑫+⑬)	663,862	715,229	773,420	800,433	805,333	830,065	851,624	873,738	818,731	752,212	
	標準税率収入額等⑯	296,524	319,636	314,422	292,359	281,251	251,805	182,932	139,504	104,245	101,763	
標準税率収入率%	1,720,010	1,622,811	1,492,787	1,513,932	1,575,937	1,646,608	1,592,136	1,602,725	1,517,319	1,396,862		
対前年度伸率%	6.0	△ 5.7	△ 8.0	1.4	4.1	4.5	△ 3.3	0.7	△ 5.3	△ 7.9		
普通交付税%	3,747,146	3,781,573	3,500,215	3,459,655	3,475,429	3,365,351	3,366,262	3,393,351	3,397,296	3,561,582		
対前年度伸率%	△ 5.1	0.9	△ 7.4	△ 1.2	0.5	△ 3.2	0.0	0.8	0.1	4.8		
臨時財政対策債発行可能額⑰	119,262	238,731	472,872	320,959	248,965	222,472	201,845	189,060	293,423	373,567		
標準財政規模⑱	5,467,156	5,404,384	4,993,002	4,973,587	5,051,366	5,011,959	4,958,398	4,996,076	4,914,615	4,958,444		
対前年度伸率%	△ 1.9	△ 1.1	△ 7.6	△ 0.4	1.6	△ 0.8	△ 1.1	0.8	△ 1.6	0.9		
起債制限比率%(3カ年平均)	13.0	13.6	14.1	14.4	14.7	14.9	14.5	14.0	12.6	11.0		
実質公債費比率%(3カ年平均)					22.7	23.7	22.0	21.1	19.1	17.0		

※ 起債制限比率=  $\frac{\text{元利償還金一般財源⑨} - (\text{交付税算入公債費⑭} + \text{事業費補正⑮})}{\text{標準財政規模⑱} - (\text{交付税算入公債費⑭} + \text{事業費補正⑮})} \times 100(\%)$

(注)

平成15年度一般会計借入額①、償還金元金②には市町村振興資金(借換分) 25,700千円

は含まない。

平成16年度一般会計借入額①、償還金元金②には減税補てん債平成7・8年度借換分195,200千円及び公有林施業転換資金23,200千円は含まない。

平成20年度一般会計借入額①、償還金元金②には補償金免除繰上償還に係る借換分11,900千円は含まない。

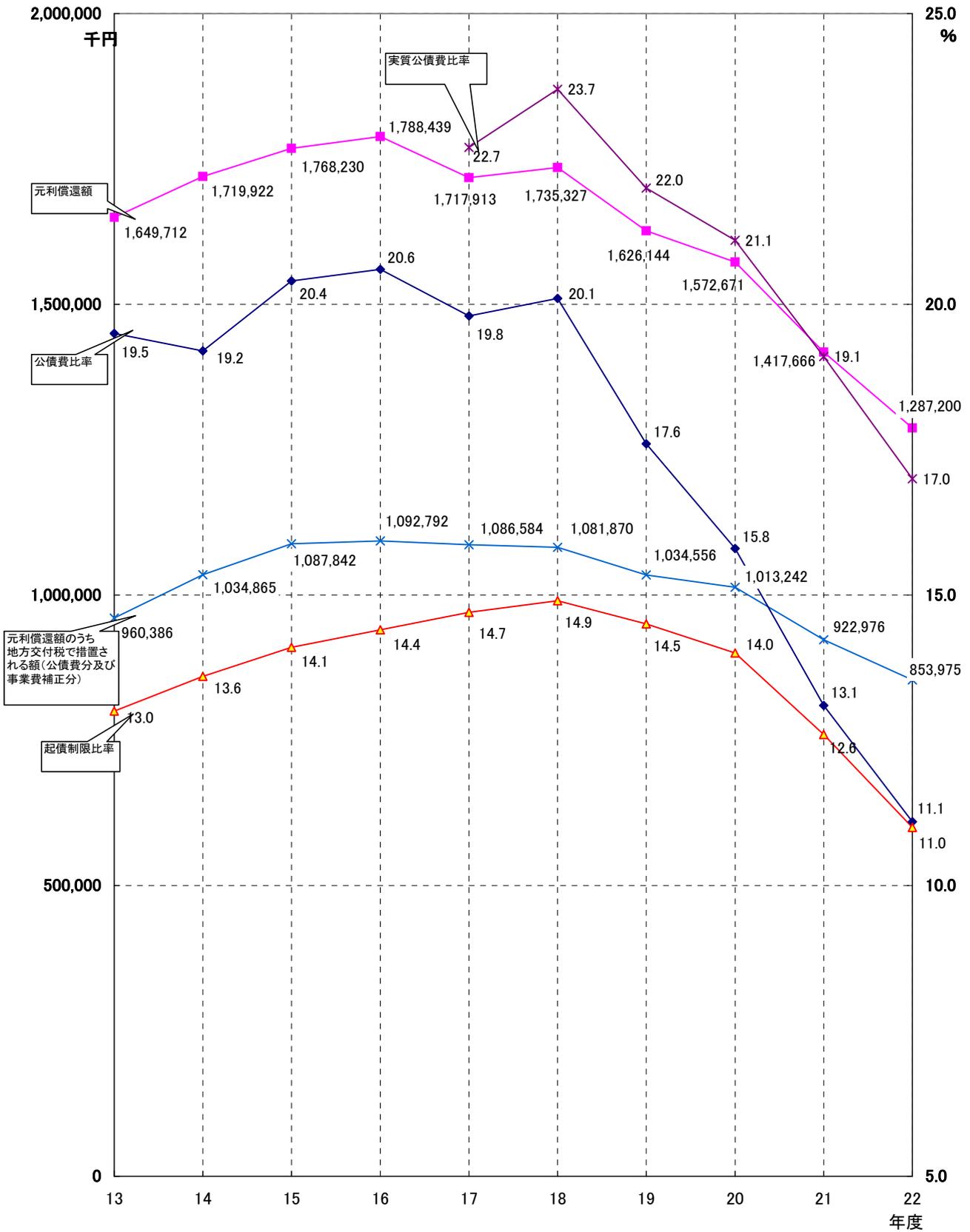
平成21年度一般会計借入額①、償還金元金②には補償金免除繰上償還に係る借換分3,700千円は含まない。

(13年度以降は分母に臨時財政対策債発行可能額⑰を加える)

※ 実質公債費比率については、2. 決算概要(2)標準財政規模等を参照。

※ 標準財政規模については、平成20年度から臨時財政対策債発行可能額を含む取り扱いとなっているが、本表は、平成13年からの推移を表すものであるため、臨時財政対策債発行可能額を除いて算出している。

公債費関係動向図



## バ ラ ン ス シ ー ト

(平成22年3月31日現在)

(単位:千円)

借 方		貸 方	
<b>[資産の部]</b>		<b>[負債の部]</b>	
1. 有形固定資産		1. 固定負債	
(1)総務費	522,315	(1)地方債	7,152,552
(2)民生費	1,201,512	(2)債務負担行為	
(3)衛生費	239,332	① 物件の購入等	0
(4)労働費	27,378	② 債務保証又は損失補償	0
(5)農林水産業費	1,434,641	債務負担行為計	0
(6)商工費	935,276	(3)退職給与引当金	1,298,166
(7)土木費	6,357,952	(4)その他	0
(8)消防費	156,938	固定負債合計	8,450,718
(9)教育費	10,324,379		
(10)その他	4,846		
計	21,204,569		
(うち土地	5,698,385 )		
有形固定資産合計	21,204,569		
2. 投資等		2. 流動負債	
(1)投資及び出資金	2,328,705	(1)翌年度償還予定額	1,169,613
(2)貸付金	142,051	(2)翌年度繰上充用金	0
(3)基金		流動負債合計	1,169,613
① 特定目的基金	362,485		
② 土地開発基金	228,767		
③ 定額運用基金	31,029		
基金計	622,281		
(4)退職手当組合積立金	173,494		
投資等合計	3,266,531		
3. 流動資産		<b>[正味資産の部]</b>	
(1)現金・預金		1. 国庫支出金	2,805,850
① 財政調整基金	348,400	2. 都道府県支出金	1,921,974
② 減債基金	220,650	3. 一般財源等	11,226,789
③ 歳計現金	423,698	正味資産合計	15,954,613
現金・預金計	992,748		
(2)未収金			
① 地方税	100,262		
② その他	10,834		
未収金計	111,096		
流動資産合計	1,103,844		
資産合計	25,574,944	負債・正味資産合計	25,574,944

※債務負担行為に関する情報

①物件の購入等に係るもの	92,153	千円(本表に計上したものを除く)
②債務保証又は損失補償に係るもの	825,702	千円(本表に計上したものを除く)
③利子補給等に係るもの	124,189	千円

※「負債の部 退職給与引当金」については、個別積み上げ方式による。

## バ ラ ン ス シ ー ト(町民一人あたり)

人口 15,918 人

(平成22年3月31日現在)

(単位:千円)

借 方		貸 方	
<b>[資産の部]</b>		<b>[負債の部]</b>	
1. 有形固定資産		1. 固定負債	
(1)総務費	33	(1)地方債	449
(2)民生費	75	(2)債務負担行為	
(3)衛生費	15	① 物件の購入等	0
(4)労働費	2	② 債務保証又は損失補償	0
(5)農林水産業費	90	債務負担行為計	0
(6)商工費	59	(3)退職給与引当金	82
(7)土木費	399	(4)その他	0
(8)消防費	10	固定負債合計	531
(9)教育費	649		
(10)その他	0		
計	1,332		
(うち土地	358 )		
有形固定資産合計	1,332		
2. 投資等		2. 流動負債	
(1)投資及び出資金	146	(1)翌年度償還予定額	73
(2)貸付金	9	(2)翌年度繰上充用金	0
(3)基金		流動負債合計	73
① 特定目的基金	23		
② 土地開発基金	14		
③ 定額運用基金	2		
基金計	39		
(4)退職手当組合積立金	11		
投資等合計	205		
3. 流動資産		<b>[正味資産の部]</b>	
(1)現金・預金		1. 国庫支出金	176
① 財政調整基金	22	2. 都道府県支出金	120
② 減債基金	14	3. 一般財源等	707
③ 歳計現金	27	正味資産合計	1,003
現金・預金計	63		
(2)未収金			
① 地方税	6		
② その他	1		
未収金計	7		
流動資産合計	70		
資産合計	1,607	負債・正味資産合計	1,607

※債務負担行為に関する情報

①物件の購入等に係るもの	6	千円(本表に計上したものを除く)
②債務保証又は損失補償に係るもの	52	千円(本表に計上したものを除く)
③利子補給等に係るもの	8	千円

※「負債の部 退職給与引当金」については、個別積み上げ方式による。

## 6. 平成22年度 特別会計等決算

### (1) 水道事業

#### 1. 概要

##### (1) 総括事項

平成22年度事業については、常に安定した「清浄な水」の供給に努め、公営企業として健全な経営を確保するため、経営の安定化と効率化に配慮しながら、施設維持管理の徹底、経費の節減による経営の健全化維持に努力してきた。

##### ① 給水の状況

当事業年度における普及状況は、行政区域内人口 15,760 人に対し、給水人口 15,342 人で普及率は 97.3%（前年度比 0.2%増）となった。

年間有収水量は 1,568,038 m<sup>3</sup>で、前年度比 15,453 m<sup>3</sup>の増、率で 1.0%の増となり、これに対する配水量は 1,874,663 m<sup>3</sup>、有収率は 83.6%となった。

##### ② 主な事業

配水管整備事業については、安定給水確保のため既設配水管の布設替等を実施した。事業費総額は 71,075 千円（税込）となった。

##### ③ 経営の状況

###### (ア) 収益的収支

収入総額は 324,179 千円となり、前年度比 2,475 千円、0.8%の増となった。主な収入としての給水収益は、309,612 千円で、前年度比 2,737 千円 0.9%の増、収入総額に占める割合では 95.5%となった。

一方、費用総額は 277,788 千円で、前年度比 6,301 千円、2.3%の増となったが、当年度純利益については 46,391 千円を計上することができた。

###### (イ) 資本的収支

支出総額は 178,471 千円で、前年度比 43,014 千円の減となった。このうち建設改良費については 92,206 千円で、前年度比 2,648 千円の増となり、企業債償還金は 86,266 千円で、前年度比 45,661 千円の減となった。

また、これに対する収入財源は、一般会計出資金 1,033 千円、一般会計負担金 10,416 千円、工事負担金 2,785 千円で、収入総額 14,234 千円となり、前年度比 45,906 千円の減となった。

この結果、資本的収入 14,234 千円が資本的支出 178,471 千円に対して不足する額 164,237 千円は、当年度分消費税資本的収支調整額 4,228 千円、減債積立金 20,000 千円、損失補てん準備積立金 20,000 千円、損益勘定留保資金 120,009 千円で対応した。

## 2. 業 務

### イ. 給水人口並びに普及率

区 分		当 年 度	前 年 度	比較増減	摘 要
行 政 区 域 内 人 口 (A)		15,760 人	15,918 人	△ 158 人	
行 政 区 域 内 戸 数 (B)		4,730 戸	4,700 戸	30 戸	
計 画 給 水 区 域 内 人 口 (C)		15,760 人	15,918 人	△ 158 人	
計 画 給 水 人 口 (D)		20,812 人	20,812 人	0 人	
給 水 人 口 (E)		15,342 人	15,452 人	△ 110 人	
普 及 率  (%)	行 政 区 域 内 $E/A \times 100$	97.3	97.1	0.2	
	計 画 給 水 区 域 内 $E/C \times 100$	97.3	97.1	0.2	
	計 画 給 水 人 口 $E/D \times 100$	73.7	74.2	△ 0.5	

### ロ. 配水量並びに給水量

区 分		当 年 度	前 年 度	比較増減	摘 要
総 配 水 量 (m <sup>3</sup> )		1,874,663	1,951,942	△ 77,279	
有 収 水 量 (m <sup>3</sup> )		1,568,038	1,552,585	15,453	
有 収 率 (%)		83.6	79.5	4.1	
一 日 当 り 平 均 配 水 量 (m <sup>3</sup> )		5,136	5,348	△ 212	
一 日 当 り 平 均 給 水 量 (m <sup>3</sup> )		4,296	4,254	42	
一 人 一 日 当 り 平 均 配 水 量 (ℓ)		334.8	346.1	△ 11.3	
一 日 最 大 配 水 量 (m <sup>3</sup> )		6,396	6,166	230	
一 人 一 日 当 り 最 大 配 水 量 (ℓ)		416.9	399.0	17.9	

【料金(22年度家庭用)】

○ 基本料金	Φ 13 mm	840 円(税含み)
	Φ 20 mm	1,050 円(税含み)
○ 従量料金	1 m <sup>3</sup> ~ 50m <sup>3</sup>	157.5 円(税含み)
	51 m <sup>3</sup> 超	189 円(税含み)

$$\text{供給単価} = \frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}} = \frac{325,093,099 \text{ 円}}{1,568,038 \text{ m}^3} = 207.32 \text{ 円(税含み)}$$

$$= \frac{309,612,475 \text{ 円}}{1,568,038 \text{ m}^3} = 197.45 \text{ 円(税除き)}$$

$$\text{給水原価} = \frac{\text{経常経費} - (\text{受託工事} + \text{材料売却原価} + \text{附帯事業費})}{\text{年間有収水量}} =$$

$$\frac{281,958,709 - (0 + 0 + 353,362) \text{ 円}}{1,568,038 \text{ m}^3} = 179.59 \text{ 円(税含み)}$$

$$\frac{277,788,294 - (0 + 0 + 336,544) \text{ 円}}{1,568,038 \text{ m}^3} = 176.94 \text{ 円(税除き)}$$

## 平成22年度 白鷹町水道事業会計損益計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(消費税抜 単位:円)

1. 上水道営業収益				
(1) 給水収益	308,113,554			
(2) 他会計負担金	9,546,000			
(3) 受託工事収益	0			
(4) その他営業収益	<u>2,100,600</u>		319,760,154	
2. 針生簡易水道営業収益				
(1) 給水収益	1,108,051			
(2) 他会計負担金	<u>27,000</u>		1,135,051	
3. 細野飲料水供給事業営業収益				
(1) 給水収益	390,870			
(2) 他会計負担金	<u>310,000</u>	<u>700,870</u>	321,596,075	
4. 上水道営業費用				
(1) 原水及び浄水費	45,150,969			
(2) 配水及び給水費	23,495,775			
(3) 受託工事費	0			
(4) 総係費	46,530,400			
(5) 減価償却費	119,884,385			
(6) 資産減耗費	4,109,826			
(7) その他営業費用	<u>0</u>	239,171,355		
5. 針生簡易水道営業費用				
(1) 原水及び浄水費	808,445			
(2) 配水及び給水費	247,980			
(3) 減価償却費	<u>1,918,653</u>	2,975,078		
6. 細野飲料水供給事業営業費用				
(1) 原水及び浄水費	294,825			
(2) 配水及び給水費	42,094			
(3) 減価償却費	332,161			
(4) 資産減耗費	<u>10,103</u>	679,183	242,825,616	
上水道営業利益			80,588,799	
針生簡易水道営業利益			△ 1,840,027	
細野飲料水供給事業営業利益			<u>21,687</u>	
営業利益計			<u>78,770,459</u>	
7. 上水道営業外収益				
(1) 受取利息及び配当金	899,547			
(2) 他会計負担金	450,000			
(3) 雑収益	<u>24,241</u>	1,373,788		

8. 針生簡易水道営業外収益			
(1) 他 会 計 負 担 金	<u>1,209,000</u>	1,209,000	2,582,788
9. 上水道営業外費用			
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	34,360,446		
(2) そ の 他 営 業 外 費 用	265,476		
(3) そ の 他 雑 支 出	<u>0</u>	34,625,922	
10. 針生簡易水道営業外費用			
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	<u>265,688</u>	265,688	
11. 細野飲料水供給事業営業外費用			
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	<u>0</u>	0	34,891,610
上水道経常利益			47,336,665
針生簡易水道経常利益			△ 896,715
細野飲料水供給事業経常利益			<u>21,687</u>
経 常 利 益 計			<u>46,461,637</u>
12. 上水道特別利益			
(1) 固 定 資 産 売 却 益	0		
(2) 期 間 外 収 益	<u>0</u>	0	
13. 上水道特別損失			
(1) 固 定 資 産 売 却 損	0		
(2) 過 年 度 損 益 修 正	64,497		
(3) そ の 他 特 別 損 失	<u>6,571</u>	71,068	
上水道当年度純利益			47,265,597
針生簡易水道当年度純利益			△ 896,715
細野飲料水供給事業当年度純利益			<u>21,687</u>
当 年 度 純 利 益			<u>46,390,569</u>
前年度繰越利益剰余金			<u>98,146,239</u>
当年度未処分利益剰余金			<u><u>144,536,808</u></u>

## 平成22年度 白鷹町水道事業貸借対照表

(平成23年3月31日)

### 資 産 の 部

(消費税抜 単位:円)

1. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
イ. 土地	地		27,119,188
ロ. 建物		126,094,688	
	減価償却累計額	<u>61,300,409</u>	64,794,279
ハ. 構築物		4,166,452,875	
	減価償却累計額	<u>1,480,325,214</u>	2,686,127,661
ニ. 機械及び装置		780,619,383	
	減価償却累計額	<u>528,751,918</u>	251,867,465
ホ. 車両運搬具		11,746,400	
	減価償却累計額	<u>9,865,700</u>	1,880,700
ヘ. 工具器具及び備品		38,306,188	
	減価償却累計額	<u>34,463,071</u>	3,843,117
ト. その他有形固定資産			4,500,000
チ. 建設仮勘定			<u>0</u>
有形固定資産合計			3,040,132,410
(2) 無形固定資産			
イ. 水利権		15,000	
	減価償却費	<u>15,000</u>	0
ロ. 車庫利用権		0	
	減価償却費	<u>0</u>	0
ハ. 電話加入権		108,720	
	減価償却費	<u>0</u>	<u>108,720</u>
無形固定資産合計			<u>108,720</u>
固定資産合計			3,040,241,130
2. 流動資産			
(1) 現金及び預金			287,046,576
(2) 未収金			11,897,852
(3) 貯蔵品			<u>4,575,934</u>
流動資産合計			<u>303,520,362</u>
資産合計			<u><u>3,343,761,492</u></u>

負債の部

(消費税抜 単位:円)

3. 固定負債

(1) 引当金

イ. 修繕引当金

7,158,600

固定負債合計

7,158,600

4. 流動負債

(1) 未払金

2,551,462

(2) 下水道預り金

11,444,419

流動負債合計

13,995,881

負債合計

21,154,481

資本の部

(消費税抜 単位:円)

5. 資本金

(1) 自己資本金

1,330,423,370

(2) 借入資本金

イ. 企業債

1,279,808,285

資本金合計

2,610,231,655

6. 剰余金

(1) 資本剰余金

イ. 受贈財産評価額

71,095

ロ. 寄附金

30,153,606

ハ. 工事負担金

336,062,873

ニ. その他資本剰余金

201,550,974

資本剰余金合計

567,838,548

(2) 利益剰余金

イ. 減債積立金

0

ロ. 損失補てん金

0

ハ. 建設改良積立金

0

ニ. その他積立金

0

ホ. 未処分利益剰余金

98,146,239

ヘ. 当年度純利益

46,390,569

利益剰余金合計

144,536,808

剰余金合計

712,375,356

資本合計

3,322,607,011

負債・資本合計

3,343,761,492

## (2) 農業集落排水事業

### 1 事業の内容

平成9年3月31日に供用を開始した浅立地区農業集落排水事業は、平成10年度末に排水設備加入率100%を達成しており、22年度末の水洗化率は95.0%となった。

西高玉地区については、平成16年10月31日に全地区供用開始となり、22年度末の排水設備加入率は92.1%、水洗化率は72.3%となっている。浅立・西高玉地区とも維持管理組合と連携をとりながら、排水設備、水洗化の促進に努め、さらに適切な維持管理を推進する。

決算額は、歳入90,262千円、歳出88,901千円、差引額1,361千円となった。歳入の財源内訳は、使用料16,990千円、一般会計繰入金等73,272千円である。

### 2 借入先別地方債残高

(単位 千円)

区 分	平成21年度 末現在高	平成22年度		平成22年度 末現在高A	Aの利率別内訳		
		発行額	償還元金		3.0%未満	3.0~4.0%	4.0~5.0%
財政融資資金	479,279		21,738	457,541	296,301	46,238	115,002
うち旧資金運用部	315,727		16,133	299,594	138,354	46,238	115,002
簡 保	2,658		747	1,911	1,911		
公営企業金融公庫	304,179		14,694	289,485	183,248	52,546	53,691
計	786,116		37,179	748,937	481,460	98,784	168,693

### 3 普及状況（浅立・西高玉地区）

区 分	20年度末	21年度末	22年度末
行政人口 (人)	16,120	15,918	15,760
処理区域内人口 (人)	1,292	1,294	1,273
水洗化人口 (人)	1,097	1,099	1,092
普及率 (%)	8.0	8.1	8.1
水洗化率 (%)	84.9	84.9	85.8
水洗化世帯率 (%)	82.9	82.6	83.5
整備率 (%)	100.0	100.0	100.0

## (3) 個別排水処理施設事業

### 1 事業の内容

本事業は、水道水源の水質確保を図るため、公共下水道事業等に代わる手法として浄化槽を町が設置し、管理を行う事業である。黒鴨地区と深山地区の一部を対象に平成14年度から平成16年度の3ヶ年で8基を設置し、管理を行っている。また、平成17年度から区域を拡大し、平成19年度までの3ヶ年計画で高岡、高玉地区の36基の整備を行った結果、平成22年度末の設置基数は44基、寄付は12基で合計56基である。

決算額は、歳入8,057千円、歳出6,632千円、差引額1,425千円となった。歳入の財源内訳は、使用料2,211千円、一般会計繰入金等5,846千円である。

#### (4) 特定地域生活排水処理事業

##### 1 事業の内容

本事業は、河川水路等公共用水域の水質浄化・水道水源の水質保全並びに生活環境・公衆衛生の向上を図るため、町が合併浄化槽を設置し管理を行う町設置型の事業である。対象区域は、公共下水道認可区域及び農業集落排水事業整備区域以外を対象としている。平成22年度末の設置基数は62基、寄付は6基である。今後とも、生活排水対策を積極的に推進する。

決算額は、歳入33,074千円、歳出30,770千円、差引額2,304千円となった。歳入の財源内訳は、国庫補助金11,660千円、地方債9,600千円、受益者負担金7,000千円、使用料1,857千円、一般会計繰入金等2,957千円である。

#### (5) 下水道事業

##### 1 総括事項

下水道事業は、公共下水道367ha、特定環境保全公共下水道130ha、合計497haの事業認可を受け、事業の推進を図っている。平成22年度末の整備面積は公共下水道350ha、特定環境保全公共下水道129ha、計479haとなり、整備率96.4%、普及率59.5%となった。また、水洗化率は84.1%であり、引続き戸別訪問等を行い、水洗化率の向上に努める。

決算は、歳入736,285千円、歳出718,977千円、差引額17,308千円となった。

##### 2 事業の概要

公共下水道事業は、総事業費604,417千円である。財源内訳は、国庫補助金119,450千円、地方債97,000千円、受益者負担金1,056千円、使用料109,823千円、一般会計繰入金等277,088千円である。

主な事業内容は、浄化管理センター水処理施設増設工事及び鮎貝地区の県道改良工事に伴う管渠工事が主である。

##### 3 借入先別地方債残高

(単位 千円)

区 分	平成 20 年度 末現在高A	平成 21 年度		平成 21 年度 末現在高A	Aの利率別内訳				
		発行額	償還元金		2.0%未満	2.0~3.0%	3.0~4.0%	4.0~5.0%	5.0~6.0%
財政融資資金	1,775,408	97,000	91,161	1,781,247	767,975	577,672	62,755	372,845	
うち旧資金運用部	917,019		51,672	865,347	231,264	198,483	62,755	372,845	
簡 保	201,773		14,030	187,743	74,459		69,620	43,664	
公営企業金融公庫	1,115,931		93,015	1,022,916	281,707	515,550	106,980	118,679	
市中銀行等	681,109		111,913	569,196	569,196				
計	3,774,221	97,000	310,119	3,561,102	1,693,337	1,093,222	239,355	535,188	

##### 4 水処理状況

平成22年度の処理水量は、996,552 m<sup>3</sup>である。このうち有収水量については793,175 m<sup>3</sup>、前年度対比1.6%の増である。

## 5 普及状況

区 分	19年度末	20年度末	21年度末	22年度末
行政人口 (人)	16,328	16,120	15,918	15,760
処理区域内人口 (人)	9,487	9,493	9,442	9,373
水洗化人口 (人)	7,613	7,736	7,836	7,879
普及率 (%)	58.1	58.9	59.3	59.4
水洗化率 (%)	80.2	81.5	83.0	84.1
水洗化世帯率 (%)	79.7	80.7	82.2	83.6
整備率 (%)	89.7	90.1	90.1	96.4

(外国人を含む)

項 目	51~10	11	12	13	14	15	17	18	19	20	21	22
総収益	1,942,279	228,099	264,691	346,365	332,671	308,487	305,458	335,489	341,722	357,966	388,580	435,745
営業収益	507,494	104,127	110,034	116,768	121,704	125,085	136,727	138,173	139,230	137,794	142,185	148,000
うち下水道使用料	469,749	97,852	104,739	111,473	116,409	119,790	131,432	132,878	134,021	132,813	136,627	139,642
雨水処理負担金	37,745	5,295	5,295	5,295	5,295	5,295	5,295	5,295	5,209	4,981	5,558	8,358
受託工事収益	0											0
営業外収益	1,434,785	123,972	154,657	229,597	210,967	183,402	168,731	197,316	202,492	220,172	246,395	287,745
うち他会計繰入金	1,314,442	114,463	143,830	220,505	208,189	182,150	168,731	197,316	202,016	220,172	246,395	287,745
総費用	3,195,104	326,681	321,601	320,633	294,100	272,778	248,596	262,224	236,264	202,800	178,068	172,962
営業費用	747,711	96,182	96,499	103,872	89,657	84,711	81,704	105,319	88,337	88,942	86,702	90,731
うち職員給与費	151,889	17,851	17,973	8,947	8,933	8,674	8,438	8,341	8,648	7,725	7,798	8,083
営業外費用	2,447,393	230,499	225,102	216,761	204,443	188,067	166,892	156,905	147,927	113,858	91,366	82,231
うち支払利息	2,447,393	230,499	225,102	216,761	204,443	188,067	166,892	156,905	147,927	113,858	91,366	82,231
収支差引(A)-(E)	-1,252,825	△ 98,582	△ 56,910	25,732	38,571	35,709	56,862	73,265	105,458	155,166	210,512	262,783
資本的収入	11,014,179	789,211	761,374	639,867	619,593	674,232	580,291	566,242	811,567	752,647	656,053	283,012
うち地方債	4,855,328	356,900	297,100	219,100	228,500	257,900	162,600	187,100	558,200	496,100	300,700	97,000
国庫補助金	3,778,421	150,000	183,000	120,000	98,750	131,250	114,000	120,000	40,000	84,500	220,200	119,450
他会計補助金	1,897,322	252,512	257,622	271,281	274,260	257,090	260,319	238,704	195,054	159,800	124,171	60,849
工事負担金等	483,108	29,799	23,652	29,486	18,083	27,992	43,372	20,438	18,313	12,247	10,982	5,713
資本的支出	10,986,909	802,033	785,115	662,043	663,068	719,989	637,399	642,181	915,318	906,672	863,212	546,015
うち建設改良費	9,779,202	519,355	515,081	342,541	313,284	302,400	292,557	294,081	166,070	226,294	430,406	235,897
地方債償還金	1,207,707	282,678	270,034	319,502	349,784	417,589	344,842	348,100	749,248	680,378	432,806	310,118
支出差引(I)-(J)	27,270	△ 12,822	△ 23,741	△ 22,176	△ 43,475	△ 45,757	△ 57,108	△ 75,939	△ 103,751	△ 154,025	△ 207,159	△ 263,003
収支再差引(H)+(L)	-1,225,555	△ 111,404	△ 80,651	3,556	△ 4,904	△ 10,048	△ 246	△ 2,674	1,707	1,141	3,353	△ 220
積立金	0											0
前年度からの繰越金	49,696	11,215	14,311	18,660	22,216	17,312	14,247	14,001	11,327	13,034	14,175	17,528
前年度繰入充当金	0											0
収益的支出に充てた地方債	1,242,800	114,500	85,000	0	0	8,000	0	0	0	0	0	0
形式的収支	66,941	14,311	18,660	22,216	17,312	15,264	14,001	11,327	13,034	14,175	17,528	17,308
翌年度に繰越すべき財源	15,120	6,344	3,800	1,100	1,350	500	500					0
実質収支	51,821	7,967	14,860	21,116	15,962	15,264	13,501	11,327	13,034	14,175	17,528	17,308
黒字												
赤字												
収益的収支比率(A)/(E)+ (K)		37.4	44.7	54.1	51.7	44.7	51.5	55.0	34.7	40.5	63.6	90.2
赤字比率(U)/(B)-(C)												

## (6) 病院事業

### 1. 概況

#### (1) 総括事項

平成22年度の外来診療については、内科、外科は毎日、整形外科、婦人科は週2日、皮膚科は週1日の診療を行ってきた。常勤医師は内科医3名、外科医2名の5名体制を維持することができた。

また、非常勤医師は山形大学医学部付属病院から派遣いただき、内科、外科の一部と整形外科、婦人科、皮膚科の診療及び時間外や休日の日当直の一部等を対応いただいた。

主な事業については、腹腔鏡下手術用TVシステムの更新、感染防止用クリーンベッド購入、医師住宅整備事業などを実施した。

#### (2) 患者数の状況

入院患者数は年延べ18,754人（一日平均51.4人）で、対前年度比100.4%、外来患者数48,237人（一日平均198.5人）で、対前年度比97.2%、入院患者平均在院日数は15.4日で対前年度比0.2日短くなっている。入院患者数は伸び悩み、70床に対する病床利用率は73.4%であった。

#### (3) 収益的収支の概況

収益的収支においては、収益面で医業収益が910,530千円で、対前年度比99.8%、医業外収益は一般会計負担金の減により228,129千円で、対前年度比92.1%となり、総収益では1,138,659千円で、対前年度比98.2%となった。医業費用は1,088,556千円で、対前年度比98.2%となった。医業外費用は、支払消費税の増により53,655千円で、対前年度比101.6%となった。

以上の結果、収支差引純損失が3,552千円となり、累積欠損金は同額増加し、当年度末における未処理欠損金は、98,914千円となった。

#### (4) 資本的収支の概況

資本的収入は、腹腔鏡下手術用TVシステムの更新事業と医師住宅整備事業に対する国庫補助金（国保特会経由）8,479千円、感染防止用クリーンベッド購入に対する県補助金1,764千円、一般会計出資金10,000千円、合計で20,243千円となった。資本的支出は、医療器械更新、医師住宅整備等の事業と企業債元金償還など合計で131,284千円（消費税込み）となった。資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額111,041千円については、当年度分消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で対応した。

今後とも地域住民から信頼される病院を目指し、患者サービスの充実並びに病院経営の健全化に努めていく。

（以下の各表については、消費税抜きで表記するもの。）

## 2. 業務状況

### (ア) 患者数及び病床利用率

		入 院		外 来		計	
		21	22	21	22	21	22
患 者 数		18,685人	18,754人	49,621人	48,237人	68,306人	66,991人
内 訳	外 科	3,126	3,365	7,971	7,466	11,097	10,831
	内 科	14,670	14,526	29,472	28,870	44,142	43,396
	婦 人 科			1,136	1,113	1,136	1,113
	整形外科	889	863	3,458	3,369	4,347	4,232
	皮 膚 科			994	1,121	994	1,121
	白 光 園			3,591	3,259	3,591	3,259
	陽 光 学 園			1,606	1,589	1,606	1,589
	人間ドック			1,393	1,450	1,393	1,450
病床利用率		73.1%	73.4%				

### (イ) 業務量

		入 院		外 来		計	
		21	22	21	22	21	22
給 食 数		45,096食	45,385食			45,096食	45,385食
X 線 件 数		9,087件	8,274件	12,339件	11,911件	21,426件	20,185件
検 査 件 数		76,641件	72,744件	96,514件	95,571件	173,155件	168,315件
調 剤 数		7,412件	8,753件	2,031件	1,888件	9,443件	10,641件

## (ウ) 事業収入及び事業費用

事業収入			事業費用				
科目	金額	%	科目	金額	%		
医業収益	入院収益	525,185,399	46.1	医業費用	給与費	661,349,931	57.9
	外来収益	287,183,999	25.2		材料費	163,635,021	14.3
	その他医業収益	98,160,072	8.6		経費	169,453,293	14.8
	小計	910,529,470	80.0		減価償却費	90,382,475	7.9
医業外収益	受取利息配当金	1,854,159	0.2		資産減耗費	1,768,713	0.2
	他会計負担金	220,000,000	19.3		研究研修費	1,967,101	0.2
	雑収入	6,275,312	0.6		小計	1,088,556,534	95.3
	小計	228,129,471	20.0		支払利息及び企業債取扱諸費	35,072,527	3.1
合計	1,138,658,941	100.0	医業外費用		雑損失	18,582,129	1.6
					小計	53,654,656	4.7
				合計	1,142,211,190	100.0	

経常利益            -3,552,249 円  
 当年度純利益       -3,552,249 円  
 累積欠損金        98,913,757 円

## (工) 資本の収入及び支出

収 入			支 出		
科目	金額	%	科目	金額	%
一般会計 出資金	10,000,000	49.4	建設改良費	63,304,000	49.4
直診勘定 繰入金	8,479,000	41.9	企業債 償還元金	64,094,911	50.0
補助金	1,764,000	8.7	投資	720,000	0.6
計	20,243,000	100.0	計	128,118,911	100.0

## ◇財務分析

項 目	比率 (%)	算 出 基 礎
1. 自己資本構成比率	54.1	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債資本合計}} \times 100$
2. 固定資産構成比率	44.5	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{資本合計}} \times 100$
3. 流動比率	1123.3	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
4. 総収益対総費用比率	99.7	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
5. 医業収益対医業費用比率	83.6	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$
6. 企業債償還対減価償却比率	70.9	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$
7. 入院・外来料金収入に対する比率		
イ 企業債償還元金	7.9	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{料金収入}} \times 100$
ロ 企業債利息	4.3	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{料金収入}} \times 100$
ハ 企業債元利償還金	12.2	$\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{料金収入}} \times 100$
ニ 職員給与費	81.4	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{料金収入}} \times 100$

病院事業会計決算

平成17～22年度収益の収入及び支出

(単位：千円、%)

区分	決算												
	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		22年度		
	金額	対前年度比率	金額	対前年度比率	金額	対前年度比率	金額	対前年度比率	金額	対前年度比率	金額	対前年度比率	
事業収入	入院収益	573,242	△ 2.1	575,614	0.4	554,897	△ 3.6	559,846	0.9	528,032	△ 5.7	525,186	△ 0.5
	外来収益	320,936	△ 1.4	317,774	△ 1.0	302,747	△ 4.7	296,494	△ 2.1	286,875	△ 3.2	287,184	0.1
	その他医療収益	84,782	△ 4.9	85,102	0.4	82,686	△ 2.8	90,910	9.9	97,370	7.1	98,160	0.8
	小計	978,961	△ 2.1	978,490	△ 0.0	940,330	△ 3.9	947,250	0.7	912,277	△ 3.7	910,530	△ 0.2
	受取利息配当金	1,275	4.8	1,346	5.6	2,184	62.3	2,263	3.6	1,853	△ 18.1	1,854	0.1
他会計負担金	175,000	△ 5.4	195,000	11.4	234,500	20.3	225,000	△ 4.1	240,000	6.7	220,000	△ 8.3	
患者外給食収益	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
雑収入	5,953	△ 24.3	6,566	10.3	6,354	△ 3.2	6,226	△ 2.0	5,421	△ 12.9	6,275	15.8	
補助金									378		0	△ 100.0	
小計	182,228	△ 6.1	202,912	11.4	243,038	19.8	233,489	△ 3.9	247,652	6.1	228,129	△ 7.9	
特別利益	0	-	1,660	皆増	0	-	0	-	0	-	0	-	
合計	1,161,189	△ 2.8	1,183,063	1.9	1,183,368	0.0	1,180,739	△ 0.2	1,159,929	△ 1.8	1,138,659	△ 1.8	
事業費用	給与	651,503	△ 1.2	661,475	1.5	679,277	2.7	676,416	△ 0.4	690,736	2.1	661,350	△ 4.3
	材料費	185,191	△ 2.5	210,874	13.9	196,937	△ 6.6	194,293	△ 1.3	173,533	△ 10.7	163,635	△ 5.7
	経費	151,011	△ 0.4	161,131	6.7	154,823	△ 3.9	154,276	△ 0.4	147,050	△ 4.7	169,453	15.2
	減価償却費	82,515	18.5	83,936	1.7	87,231	3.9	92,344	5.9	94,097	1.9	90,382	△ 3.9
	資産減耗費	3,289	△ 83.0	1,001	△ 69.6	3,243	224.0	3,601	11.0	1,075	△ 70.1	1,769	64.6
	研究研修費	2,288	27.9	1,685	△ 26.4	1,638	△ 2.8	1,594	△ 2.7	1,769	11.0	1,967	11.2
	小計	1,075,797	△ 1.4	1,120,102	4.1	1,123,150	0.3	1,122,524	△ 0.1	1,108,260	△ 1.3	1,088,556	△ 1.8
	支払利息及び企業債取扱諸費	43,444	△ 2.9	41,800	△ 3.8	40,040	△ 4.2	38,419	△ 4.0	36,757	△ 4.3	35,073	△ 4.6
	患者外給食材料費	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	雑損	23,502	0.0	20,781	△ 11.6	19,712	△ 5.1	16,808	△ 14.7	16,060	△ 4.5	18,582	15.7
小計	66,946	△ 1.9	62,581	△ 6.5	59,752	△ 4.5	55,227	△ 7.6	52,817	△ 4.4	53,655	1.6	
合計	1,142,743	△ 1.5	1,182,683	3.5	1,182,902	0.0	1,177,751	△ 0.4	1,161,077	△ 1.4	1,142,211	△ 1.6	
事業収入-事業費用	18,446	△ 46.5	379	△ 97.9	466	23.0	2,988	540.7	△ 1,148	△ 138.4	△ 3,552	209.4	
累積欠損金	98,046	△ 15.8	97,667	△ 0.4	97,201	△ 0.5	94,214	△ 3.1	95,362	1.2	98,914	3.7	

平成17～22年度資本的收入及び支出

(単位：千円、%)

区分	決算											
	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		22年度	
	金額	対前年度比率	金額	対前年度比率	金額	対前年度比率	金額	対前年度比率	金額	対前年度比率	金額	対前年度比率
企業債	0	皆減	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
一般会計出資金	5,000	0.0	5,000	0.0	10,000	100.0	10,000	0.0	10,000	0.0	10,000	0.0
繰入金	47,850	1039.3	17,025	△ 64.4	5,000	△ 70.6	2,625	△ 47.5	22,625	761.9	8,479	△ 62.5
固定資産売却代金	0	-	703	皆増	0	皆減	0	-	0	-	0	-
補償金	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
補助金									2,142		1,764	△ 17.6
計	52,850	△ 7.6	22,728	△ 57.0	15,000	△ 34.0	12,625	△ 15.8	34,767	175.4	20,243	△ 41.8
施設整備費	37,140	△ 32.2	0	皆減	11,655	皆増	0	皆減	28,207	皆増	34,534	22.4
医療器械購入費	93,929	△ 15.0	68,275	△ 27.3	38,691	△ 43.3	10,840	△ 72.0	25,550	135.7	28,770	12.6
企業債償還元金	62,874	2.6	76,389	21.5	71,311	△ 6.6	72,932	2.3	74,594	2.3	64,095	△ 14.1
投資	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	720	皆増
出資金	0	皆減	20,000	皆増	0	皆減	0	-	0	-	0	-
計	193,943	△ 15.5	164,664	△ 15.1	121,657	△ 26.1	83,772	△ 31.1	128,351	53.2	128,119	△ 0.2
収入-支出	△ 141,093	18.1	△ 141,936	△ 0.6	△ 106,657	△ 24.9	△ 71,147	△ 33.3	△ 93,584	31.5	△ 107,876	15.3

## 平成 2 2 年度 白鷹町立病院事業損益計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：円) (税抜き)

1. 医業収益			
(1) 入院収益	525,185,399		
(2) 外来収益	287,183,999		
(3) その他医業収益	98,160,072	910,529,470	
2. 医業費用			
(1) 給与費	661,349,931		
(2) 材料費	163,635,021		
(3) 経費	169,453,293		
(4) 減価償却費	90,382,475		
(5) 資産減耗費	1,768,713		
(6) 研究研修費	1,967,101	1,088,556,534	
医業利益			△ 178,027,064
3. 医業外収益			
(1) 受取利息配当金	1,854,159		
(2) 他会計負担金	220,000,000		
(3) 雑収入	6,275,312	228,129,471	
4. 医業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	35,072,527		
(2) 雑損失	18,582,129	53,654,656	174,474,815
経常利益			△ 3,552,249
当年度純利益			△ 3,552,249
前年度繰越欠損金			95,361,508
当年度未処理欠損金			98,913,757

# 平成22年度 白鷹町立病院事業貸借対照表

(平成23年3月31日)

(単位：円) (税抜き)

## 資 産 の 部

### 1. 固定資産

#### (1) 有形固定資産

イ 土地		110,676,578	
ロ 建物	2,585,219,404		
建物減価償却累計額	<u>600,797,853</u>	<u>1,984,421,551</u>	
ハ 器械備品	672,973,975		
器械備品減価償却累計額	<u>460,346,038</u>	<u>212,627,937</u>	
ニ 構築物	48,830,000		
構築物減価償却累計額	<u>12,681,283</u>	<u>36,148,717</u>	
ホ 車両	2,228,000		
車両減価償却累計額	<u>2,116,600</u>	<u>111,400</u>	
有形固定資産合計			2,343,986,183

#### (2) 無形固定資産

イ 電話加入権			<u>418,880</u>
---------	--	--	----------------

#### (3) 投資

##### イ その他投資

出資金			<u>3,720,000</u>
-----	--	--	------------------

固定資産合計			<u>2,348,125,063</u>
--------	--	--	----------------------

### 2. 流動資産

(1) 現金預金		470,692,711	
(2) 未収金		140,346,034	
(3) 貯蔵品		16,069,336	
(4) 仮払金		<u>6,653,086</u>	

流動資産合計			633,761,167
--------	--	--	-------------

資産合計			<u><u>2,981,886,230</u></u>
------	--	--	-----------------------------

## 負債の部

### 3. 流動負債

(1) 未払金	56,352,822	
預り金	65,092	
流動負債合計		<u>56,417,914</u>
負債合計		56,417,914

## 資本の部

### 4. 資本金

(1) 自己資本金	1,485,234,352	
(2) 借入資本金		
イ 企業債	<u>1,311,693,935</u>	
資本金合計		2,796,928,287

### 5. 剰余金

(1) 資本剰余金		
イ 国県補助金	227,453,786	
(2) 利益剰余金		
イ 当年度未処分利益剰余金	<u>△ 98,913,757</u>	
剰余金合計		<u>128,540,029</u>
資本合計		<u>2,925,468,316</u>
負債資本合計		<u><u>2,981,886,230</u></u>

## (7) 訪問看護ステーション事業

### 1. 概 況

自宅療養が必要で通院困難な方等を対象に、主治医の指示のもと、利用者を訪問し、看護・療養指導及び居宅介護支援を行っている。主な内容は、病状の観察、清拭等の清潔の保持、褥瘡等の皮膚の処置、カテーテルの管理などの医療処置、認知症のケア、食事のケア、排泄のケア、リハビリテーションの指導、服薬の指導や相談、さらに医療福祉サービスの情報提供、介護保険の相談など幅広いサービスを担っている。

利用者数は1,213人で対前年度比81人の増、訪問延件数は3,713件で81件の減となった。

収益的収支については、事業収益が31,337千円、事業費用は30,748千円で、経常利益及び当年度純利益は589千円となり、当年度未処分利益剰余金は12,476千円となった。

今後とも利用者のニーズを踏まえた、良質で安心できるサービスの提供を行うべく、主治医や関係機関との連携を密にし、在宅療養の充実に努めていく。

### 2. 業務状況

#### (ア) 訪問状況

項 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度
利用者実数	1,111人	1,132人	1,213人
介護保険対象者	1,081人	1,095人	1,170人
医療保険対象者	30人	37人	43人
訪問延べ件数	3,827件	3,794件	3,713件
介護保険対象者	3,731件	3,671件	3,437件
医療保険対象者	96件	123件	276件
利用者1人当たりの月訪問回数	3.4回	3.4回	3.1回
利用者1人当たりの月收入	28,032円	26,596円	24,455円
訪問看護1回当たりの単価	8,138円	7,935円	7,989円
時間外訪問件数 平日	99回	96回	75回
深夜	25回	22回	29回
土曜日	49回	74回	66回
日曜日	59回	66回	80回
祝祭日	38回	30回	34回
小計	270回	288回	284回

## (イ) 居宅介護支援（ケアプラン）状況

項 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度
延べ利用件数	163件	66件	78件
利用者1人当たりの月收入	13,147円	12,205円	12,923円

## (ウ) 職 員

項 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度
看 護 師	3人	2人	2人
非常勤看護師	1人	1人	1人
非常勤准看護師	1人	2人	3人
介護支援専門員 (ケアマネージャー)	2人 (兼務)	2人 (兼務)	2人 (兼務)

## 3. 事業収入及び事業費用

(消費税抜き)

科 目	金 額	%	科 目	金 額	%
医業収益	30,880,090	98.54	医業費用	30,446,450	99.02
訪問看護収益	29,664,122	94.66	給与費	24,853,881	80.83
ケアプラン作成収益	1,008,000	3.22	経費	5,099,572	16.59
その他医業収益	207,968	0.66	減価償却費	407,610	1.33
医業外収益	456,939	1.46	資産減耗費	58,993	0.19
受取利息配当金	1,891	0.01	研究研修費	26,394	0.09
他会計負担金	336,000	1.07	医業外費用	301,394	0.98
雑収入	119,048	0.38	雑損失	301,394	0.98
合 計	31,337,029	100.00	合 計	30,747,844	100.00

経 常 利 益	589,185円
当 年 度 純 利 益	589,185円
当年度未処分利益剰余金	12,475,945円

## 4. 資本的収入及び支出 (消費税抜き)

資本的収入	0円
資本的支出（施設等整備費）	1,215,000円

平成22年度 白鷹町訪問看護ステーション事業貸借対照表  
(平成23年3月31日)

(消費税抜き、単位：円)

資産の部

1. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
イ 器械備品	2,095,000		
器械備品減価償却累計額	<u>1,630,440</u>	464,560	
ロ 車両	4,683,561		
車両減価償却累計額	<u>3,295,133</u>	<u>1,388,428</u>	
有形固定資産合計			1,852,988
固定資産合計			1,852,988
2. 流動資産			
(1) 現金預金		11,402,905	
(2) 未収金		5,135,545	
流動資産合計			16,538,450
資産合計			<u>18,391,438</u>

負債の部

3. 流動負債			
(1) 未払金		4,284,912	
預り金		27,581	
流動負債合計			<u>4,312,493</u>
負債合計			4,312,493

資本の部

4. 資本金			
(1) 自己資本金		1,603,000	
資本金合計			1,603,000
5. 剰余金			
(1) 利益剰余金			
イ 当年度未処分利益剰余金		12,475,945	
剰余金合計			<u>12,475,945</u>
資本合計			<u>14,078,945</u>
負債資本合計			<u>18,391,438</u>



## (9)老人保健医療事業

(単位:千円)

区 分		決 算 額	区 分		決 算 額 等	
入	1 支 払 基 金 交 付 金	1	歳 出	3 繰 出 金	3,790	
	(1) 医 療 費 交 付 金			4 前 年 度 繰 上 充 用 金		
	(2) 審 査 支 払 手 数 料 交 付 金	1		5 そ の 他 の 支 出	835	
	2 国 庫 支 出 金			歳 出 合 計 ( 1 ~ 5 ) ②	5,487	
	3 都 道 府 県 支 出 金			歳 入 歳 出 差 引 額 $\frac{A-B}{C}$		
	4 他 会 計 繰 入 金	805	収 支	繰 越 又 は 支 払 繰 延 等	医 療 諸 費 ④	
	(1) 医 療 費 に 係 る も の				そ の 他 の 経 費 ⑤	
	(2) そ の 他 の も の	805			計 ⑥	
	① 人 件 費 に 係 る 分	805		翌 年 度 負 担 金 等 精 算 予 定 額	精 算 交 付 額 ⑦	
	② そ の 他				精 算 還 付 額 ⑧	
5 繰 越 金	2,655	差 引 $\frac{G-H}{I}$				
6 そ の 他 の 収 入	2,026	実 質 収 支 額		$K+G-H$ ⑩		
歳 入 合 計 ( 1 ~ 6 ) ①	5,487			$A-B-D-E$ ⑪		
歳 出	1 総 務 費	862		人 件 費 の 状 況	1 職 員 給	660
	(1) 人 件 費	791			(1) 基 本 給	395
	(2) そ の 他	71	(2) そ の 他 の 手 当		265	
	2 医 療 諸 費		(3) 臨 時 職 員 給 与			
	(1) 医 療 給 付 費		2 地 方 公 務 員 共 済 組 合 等 負 担 金	129		
	うち 入 院 時 食 事 療 養 費		3 退 職 金			
	うち 移 送 費		4 そ の 他	2		
	(2) 特 定 療 養 費		人 件 費 合 計 ( 1 ~ 4 )	791		
	(3) 医 療 費		参 考	23 年 4 月 1 日 現 在 事 務 職 員 数 ( 人 ) ⑬		
	(4) 老 人 保 健 施 設 療 養 費			⑬ の うち 臨 時 職 員 数 ( 人 )		
(5) 老 人 訪 問 看 護 療 養 費		⑬ の 4 月 分 給 料 支 給 額 ( 千 円 )				
(6) 審 査 支 払 手 数 料						

※人件費を繰出したものとして集計している。

## (10)後期高齢者医療事業

単位:千円)

区 分		決 算 額	区 分		決 算 額
歳 入	1 後期高齢者医療保険料	77,433	人 件 費 の 状 況	1 職 員 給	4,966
	うち特別徴収保険料	62,660		(1) 基 本 給	3,503
	2 繰 入 金	57,063		(2) そ の 他 の 手 当	1,463
	(1) 一般会計繰入金	57,063		(3) 臨 時 職 員 給 与	
	うち保険基盤安定繰入金	48,142		2 地方公務員共済組合等負担金	1,113
	3 繰 越 金	2,211		3 退 職 金	736
	4 そ の 他 の 収 入	3,768		4 そ の 他	13
	歳 入 合 計 (1 ~ 4) (A)	140,475		人 件 費 合 計 (1 ~ 4)	6,828
歳 出	1 総 務 費	9,398	参 考	23年4月1日現在事務職員数(人)(L)	1
	(1) 総 務 管 理 費	7,100		Lのうち臨時職員数(人)	
	うち人件費	6,828		賃 金	
	(2) 徴 収 費	2,298		23.3.31被保険者数(人)	2,968
	2 後期高齢者医療広域連合納付金	126,324			
	3 繰 出 金				
	4 前年度繰上充用金				
5 そ の 他 の 支 出	3,366				
歳 出 合 計 (1 ~ 5) (B)	139,088				

※ 一般会計からの純計控除分を含む。

※ 人件費を繰出したものとして集計している。

## (11)介護保険事業

(単位:千円)

区 分		決 算 額	区 分		決 算 額	
歳	1 保険料	193,429	収	1 歳入歳出差引額 ㉔-㉕ ㉖	27,892	
	2 国庫支出金	346,960		繰越又は 支払繰延等	介護諸費等 ㉗	
	(1) 介護給付費負担金	224,326			その他の経費	
	(2) 調整交付金	111,174			計 ㉘	
	(3) 地域支援事業交付金 (介護予防事業)	6,099		㉙ に対する介護給付費負 ㉚		
	(4) 地域支援事業交付金 (包括的支援事業・任意事業)	5,361		うち地域支援事業に係るもの		
	(5) その他の補助金			介護給付費負 担金、事務費及 び地域支援事 業交付金精算 額	精算交付額 ㉛	
	3 支払基金交付金	388,957			うち地域支援事業に 係るもの	
	(1) 介護給付費交付金	382,692			精算還付額 ㉜	3,212
	(2) 地域支援事業支援交付金	6,265			うち地域支援事業に 係るもの	1,395
	4 都道府県支出金	194,995			㉛-㉜ ㉝	△3,212
	(1) 財源補てん的なもの ㉞				㉙ に対する支払基金交付金 ㉟	
	うち財政安定化基金支出金			支払基金	精算交付額 ㊱	
	(2) 介護給付費負担金	189,962		交付金	精算還付額 ㊲	2,313
	(3) 地域支援事業負担金	5,033		精算額	㊱-㊲ ㊳	△2,313
	(4) その他のもの			実質収支額	㊲+㊳+㊴ ㊵	22,367
	5 相互財政安定化事業交付金				㉖-㉗+㉘+㉙ ㉚	27,892
	6 他会計繰入金	197,968		支	財源補てん的な都道府県支出金 ㉛	
	(1) 財源補てん的なもの ㉜				財源補てん的な他会計繰入金 ㉜	
(2) 一般会計からのもの	197,968		財源補てん的な繰出金 ㉝			
①介護給付費繰入金	158,642		再差引収支額 ㉞-㉟+㊱+㊲ ㉜	22,367		
②地域支援事業繰入金	5,033		㉚-㉛+㉜+㉝ ㉞	27,892		
③その他一般会計繰入金	34,293		1 職員給	18,546		
(3) その他のもの			(1) 基本給	12,772		
7 基金繰入金	39,456		(2) その他の手当	5,774		
8 繰越金	25,995		(3) 臨時職員給与			
9 地方債			2 地方公務員共済組合等負担金	4,025		
うち財政安定化基金貸付金			3 退職金	2,591		
10 その他の収入	419		4 その他	59		
歳入合計(1~10) ㉟	1,388,179		人件費合計(1~4)	25,221		
歳	1 総務費	34,166	状 況	23 年 現 在 職 員 数	1 事務職員数	2
	2 保険給付費	1,269,138		4 月 1 日 (人)	2 技術職員数	1
	(1) 介護諸費等	1,267,246			3 臨時職員数	
	(2) その他の給付費			職員数合計(1~3)	3	
	(3) 審査支払手数料	1,892				
	3 財政安定化基金拠出金					
	4 相互財政安定化事業負担金					
	5 地域支援事業	32,542				
	(1) 介護予防事業費	19,675				
	(2) 包括支援事業・任意事業費	12,867				
	6 保健福祉事業費					
7 繰出金						
(1) 財源補てん的なもの ㊱						
(2) その他のもの						
8 基金積立金	19,507					
9 公債費						
(1) 元利償還金						
(2) 一時借入金利子						
10 前年度繰上充用金						
11 その他の支出	4,934					
歳出合計(1~11) ㊲	1,360,287					

## (12) 介護サービス事業(地域包括支援センター)

(単位:千円)

区 分		決 算 額	区 分		決 算 額
歳	1 サービス収入	6,951	収	歳入歳出差引額 (B) - (D) (E)	
	2 分担金及び負担金			繰越又は支払繰延等 (F)	
	3 使用料及び手数料			(F) のうち未収入特定財源 (G)	
	4 国庫支出金			実質収支額 (B) - (D) - (F) + (G) (H)	
	5 都道府県支出金		支	他会計繰入金 (A)	32,187
	6 財産収入			繰出金 (C)	
	7 寄附金			再差引収支額 (H) - (A) + (C)	△32,187
	8 他会計繰入金 (A)	32,187		1 職員給	22,443
	(1) 普通会計からのもの	32,187	(1) 基本給	15,506	
	(2) 保険事業勘定からのもの		(2) その他の手当	6,937	
	(3) その他の会計からのもの		(3) 臨時職員給与		
	9 基金繰入金		人 件 費 の 状 況	2 地方公務員共済組合等負担金	4,905
10 繰越金		3 退職金		3,165	
11 地方債		4 その他		53	
12 その他の収入		人件費合計(1~4)		30,566	
歳入合計(1~12) (B)	39,138	23 現 年 在 4 職 月 員 1 数 日 (人)		1 事務職員数	2
歳	1 総務費	7,509		2 技術職員数	2
	2 サービス事業費	31,629		3 臨時職員数	
	3 施設整備費			職員数合計(1~3)	4
	4 基金積立金			※1 地域包括支援センターが行う介護予防サービス計画の作成等に係る事業については、一般会計内で行っているが、地方財政状況調査上は介護サービス事業勘定として区別するため、当該事業に係る歳入及び歳出について、一般会計と区別するもの。	
	5 公債費			※2 介護予防サービス計画作成に係る介護報酬収入6,951千円は、サービス収入及び当該事業に係る事業費分として一般会計から純計控除し、その他当該事業に係る経費について一般会計から繰出したものとして集計している。	
	(1) 元利償還金				
	(2) 一時借入金利子				
	6 他会計繰出金 (C)				
	(1) 普通会計に対するもの				
	(2) 保険事業勘定に対するもの				
	(3) その他の会計に対するもの				
	7 前年度繰上充用金				
8 その他の支出					
歳出合計(1~8) (D)	39,138				

## (13) 白鷹町土地開発公社

(単位:千円)

区 分		20年度決算額	21年度決算額	22年度決算額	
損 益 収 支	1. 総 収 益 (A)	8,650	1,896	6,087	
	うち当該団体からの補助金等				
	2. 総 費 用 (B)	13,732	2,202	5,532	
	3. 当 期 利 益 ( A-B) (C)	△ 5,082	△ 306	555	
貸 借 対 照 表	資 産	(1)流 動 資 産	152,105	151,769	151,921
		うち未収金			
		(2)固 定 資 産			
		(3)そ の 他			
		計 (D)	152,105	151,769	151,921
		うち売却対象の土地・建物等	94,066	94,066	88,777
	負 債	(1)流 動 負 債			110
		うち短期借入金			
		(2)固 定 負 債	24,805	24,775	24,262
		うち長期借入金 (公社債券を含む)			
		(3)特 定 引 当 金			
		計 (E)	24,805	24,775	24,372
資 本	(1)基 本 金 ( 資 本 金 )	5,000	5,000	5,000	
	うち当該団体からの出資金 (出資比率)	5,000 (100.0%)	5,000 (100.0%)	5,000 (100.0%)	
	(2)剰余金・準備金(△は欠損金)	122,300	121,994	122,549	
	① 積 立 金				
	② 当期末繰越剰余金 (△は欠損金)	122,300	121,994	122,549	
	計(=D-E) (F)	127,300	126,994	127,549	
白鷹町から受けている債務保証等の額		600,000	600,000	600,000	

## (14) 白鷹町アルカディア財団

(単位:千円)

区 分		20年度決算額	21年度決算額	22年度決算額	
損 益 収 支	1. 総 収 益 (A)	372,377	378,056	329,898	
	うち当該団体からの補助金等	49,319	48,560	49,140	
	2. 総 費 用 (B)	373,981	375,235	346,251	
	3. 当 期 利 益 (A-B) (C)	△ 1,604	2,821	△ 16,353	
貸 借 対 照 表	資 産	(1) 流 動 資 産	34,394	39,176	27,048
		うち未収金	5,763	13,099	7,607
		(2) 固 定 資 産	134,473	130,833	127,703
		(3) そ の 他			
		計 (D)	168,867	170,009	154,751
		うち売却対象の土地・建物等			
	負 債	(1) 流 動 負 債	103,060	101,596	101,272
		うち短期借入金	83,000	74,000	85,000
		(2) 固 定 負 債	1,278	1,063	2,482
		うち長期借入金	532	266	0
		(3) そ の 他			
		計 (E)	104,338	102,659	103,754
資 本	(1) 基 本 金	100,000	100,000	100,000	
	うち当該団体からの出資金 (出資比率)	95,000 (95.0%)	95,000 (95.0%)	95,000 (95.0%)	
	(2) 剰余金・準備金(△は欠損金)	△ 35,471	△ 32,649	△ 49,003	
	① 積 立 金				
	② 当期末繰越剰余金 (△は欠損金)	△ 35,471	△ 32,649	△ 49,003	
	計(=D-E) (F)	64,529	67,350	50,997	
白鷹町から受けている債務保証等の額					

## (15) 有限会社ケイエスしらたか

(単位:円)

区 分		20年度決算額	21年度決算額	22年度決算額	
損 益 収 支	1. 総 収 益 (A)	54,923,311	62,836,121	94,856,619	
	2. 総 費 用 (B)	54,893,991	62,472,631	94,758,632	
	3. 当 期 利 益 (A-B) (C)	29,320	363,490	97,987	
貸 借 対 照 表	1 資 産	(1) 流 動 資 産	5,588,568	7,715,824	14,049,758
		う ち 未 収 金	4,407,170	6,649,981	13,573,621
	2 負 債	(2) 固 定 資 産			
		(3) そ の 他			
		計 (D)	5,588,568	7,715,824	14,049,758
3 資 本	(1) 流 動 負 債	2,451,246	4,215,012	10,450,959	
	(2) 固 定 負 債				
	計 (E)	2,451,246	4,215,012	10,450,959	
3 資 本	(1) 資 本 金	3,000,000	3,000,000	3,000,000	
	うち当該団体からの出資金 (出資比率)	3,000,000 (100.0%)	3,000,000 (100.0%)	3,000,000 (100.0%)	
	(2) 余 剰 金	29,320	392,810	598,799	
	①繰越利益剰余金	0	29,320	500,812	
	②当期純利益	29,320	363,490	97,987	
	計(=D-E) (F)	3,137,322	3,500,812	3,598,799	

## 7. 類似団体との比較(平成21年度決算を基準として)

類似団体別市町村財政指数表は毎年度の決算状況により総務省が作成しているもので、この表と対比してみたのが次表である。類似団体の設定は人口と産業構造(就業人口)により分類したもので、白鷹町は人口が15,000人～20,000人、第2次、第3次産業の割合が80%以上で、かつ第3次産業の割合が55%未満(いずれも12年国調数値)の部類に入り、類似団体コードIV-1となっている。

項 目		類 似 団 体	白 鷹 町
主 要 指 標	人 口 ( 人 ) ( 12 年 国 調 )	17,648	17,149
	人 口 ( 人 ) ( 17 年 国 調 )	17,043	16,331
	面 積 ( k m <sup>2</sup> ) ( 2 1 . 1 0 . 1 現 在 )	112.71	157.74
	人 口 密 度 ( 人 ) ( 17年国調)	151	104
	住 民 基 本 台 帳 登 載 人 口 ( 人 ) ( 2 2 . 3 . 3 1 現 在 )	-	15,810
基 準 財 政 需 要 額 ( 千 円 )		3,789,264	4,606,719
基 準 財 政 収 入 額 ( 千 円 )		1,728,793	1,205,280
標 準 財 政 規 模 ( 千 円 )		4,703,680	5,208,038
歳 入 総 額 ( 千 円 )		7,185,716	8,198,640
歳 出 総 額 ( 千 円 )		6,816,050	7,774,942
形 式 収 支 ( 千 円 )		369,666	423,698
実 質 収 支 ( 千 円 )		264,606	389,536
経 常 一 般 財 源 等 収 入 額 ( 千 円 )		4,305,206	4,893,463
実 質 収 支 比 率 ( 千 円 )		5.6	7.5
経 常 収 支 比 率 ( 千 円 )		87.1	93.2
財 政 力 指 数		0.49	0.27

項	目	類似団体		白鷹町	
		人口 1人当り額	構成比	人口 1人当り額	構成比
歳 入 の 状 況	区 分				
	1. 市 町 村 税	105,100 <sup>円</sup>	24.6 <sup>%</sup>	76,833 <sup>円</sup>	14.8 <sup>%</sup>
	2. 地 方 譲 与 税	6,554	1.5	7,500	1.4
	3. 利 子 割 交 付 金	351	0.1	289	0.1
	4. 配 当 割 交 付 金	98	0.0	82	0.0
	5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	47	0.0	31	0.0
	6. 地 方 消 費 税 交 付 金	8,909	2.1	8,370	1.6
	7. ゴルフ場利用税交付金	1,042	0.2	0	0.0
	8. 自動車取得税交付金	1,724	0.4	1,944	0.4
	9. 地方特例交付金	1,582	0.4	1,430	0.3
	10. 地方交付税	142,932	33.5	237,433	45.8
	11. 計(1~9)	268,339	62.8	333,912	64.4
	12. 国 有 提 供 交 付 金 (特別区財調交付金)	9	0.0	0	0.0
	13. 交通安全対策特別交付金	151	0.0	190	0.0
	14. 分担金・負担金・寄付金	3,628	0.9	3,208	0.6
	15. 使用料・手数料	7,623	1.8	7,807	1.5
	16. 国 庫 支 出 金	51,612	12.1	60,159	11.6
	17. 都 道 府 県 支 出 金	24,124	5.6	27,802	5.4
	18. 財 産 収 入	2,020	0.5	511	0.1
	19. 繰 入 金	10,751	2.5	7,502	1.4
	20. 繰 越 金	17,254	4.0	24,250	4.7
	21. 諸 収 入	9,668	2.3	7,041	1.4
22. 地 方 債	31,916	7.5	46,192	8.9	
合 計	427,095	100.0	518,573	100.0	

(平成22年3月31日現在住民基本台帳登録人口で算定)

(注) 表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計が一致しない場合がある。

項 目		類 似 団 体		白 鷹 町		
性 質 別 経 費 の 状 況	区 分	人 口 1人当り額	構 成 比	人 口 1人当り額	構 成 比	
	1.	人 件 費	75,914 <sup>円</sup>	18.7 <sup>%</sup>	76,550 <sup>円</sup>	15.6 <sup>%</sup>
	2.	物 件 費	47,423	11.7	43,633	8.9
	3.	維 持 補 修 費	4,281	1.1	13,747	2.8
	4.	扶 助 費	31,167	7.7	38,608	7.9
	5.	補 助 費 等	73,132	18.1	85,673	17.4
	6.	公 債 費	49,959	12.3	89,693	18.2
	7.	小 計 (1~6)	281,876	69.6	347,904	70.8
	8.	積 立 金	8,849	2.2	16,663	3.4
	9.	投 資 及 び 出 資 金 ・ 貸 付 金	4,926	1.2	4,853	1.0
	10.	繰 出 金	51,579	12.7	62,486	12.7
	11.	前 年 度 繰 上 充 用 金	-	-	-	-
	12.	計 (7~11)	347,230	85.7	431,906	87.9
13.	投 資 的 経 費	57,893	14.3	59,867	12.2	
	普通建設事業費	57,455	14.2	59,698	12.1	
	うち単独事業費	33,958	8.4	28,310	5.8	
	災害復旧事業費	438	0.1	170	0.0	
	失業対策事業費	-	-	-	-	
	合 計	405,124	100.0	491,774	100.0	

項 目		類 似 団 体		白 鷹 町	
目 的 別 経 費 の 状 況	区 分	人 口 1人当り額	構 成 比	人 口 1人当り額	構 成 比
	議 会 費	円 5,400	% 1.3	円 5,475	% 1.1
	総 務 費	73,717	18.2	77,978	15.9
	民 生 費	88,807	21.9	98,757	20.1
	衛 生 費	34,251	8.5	35,021	7.1
	労 働 費	2,105	0.5	4,195	0.9
	農 林 水 産 業 費	23,527	5.8	24,232	4.9
	商 工 費	10,296	2.6	10,281	2.1
	土 木 費	47,504	11.7	60,830	12.3
	消 防 費	17,990	4.5	22,420	4.6
	教 育 費	51,105	12.6	62,723	12.8
	災 害 復 旧 費	447	0.1	170	0.0
	公 債 費	49,960	12.3	89,693	18.2
	諸 支 出 金	17	0.0	-	-
	前 年 度 繰 上 充 用 金	-	-	-	-
	合 計	405,124	100.0	491,774	100.0

## 8. 公共施設の状況

以下、公共施設状況調査より掲載。

### (1) 面積等

面	積	157.74km <sup>2</sup>
地 域 指 定	過疎地域	
	特別豪雪地域	
	山村振興地域(鮎貝地区のみ)	
	特定農山村地域(鮎貝、鷹山地区のみ)	

### (2) 道路

項 目	21年4月1日現在	22年4月1日現在	23年4月1日現在
実 延 長 (m)	395,554	395,571	395,926
面 積 (m <sup>2</sup> )	2,770,807	2,772,187	2,773,568

### (3) 農業施設

項 目	21年3月31日現在	22年3月31日現在	23年3月31日現在
農 道 延 長 (m)	13,574	13,574	13,574
林 道 延 長 (m)	83,965	83,966	83,965

### (4) 廃棄物処理施設

(長井及び千代田クリーンセンター報告按分値、自家処理は推計値)

23年3月31日現在

1 し尿処理施設	処 理 人 口 (人)	3,347
	年 間 総 収 集 量 (kl)	2,167
2 ごみ処理施設	処 理 人 口 (人)	15,760
	年 間 総 収 集 量 (t)	2,803

### (5) 上水道等

23年3月31日現在

項 目	簡 易 水 道	飲 料 水 供 給 施 設	計
給 水 人 口 (人)	83	23	106

### (6) 保育所

22年10月1日現在

市町村立施設	箇 所 数	5
	延 面 積 (m <sup>2</sup> )	4,117

### (7) 養護老人ホーム

(長井市外3町共立養護老人ホーム組合のうち白鷹町按分値)

22年10月1日現在

白鷹町按分	箇 所 数	0.2
	延 面 積 (m <sup>2</sup> )	763.8

## (8) 学校 23年5月1日現在

項 目	小 学 校	中 学 校
学 校 数(校)	5	2
児 童 数(人)	787	446
学 級 数(クラス)	40	18

文部科学省「平成23年度学校基本調査」参考

## (9) 高等学校 23年5月1日現在

県 立	学 校 数(校)	1
	生 徒 数(人)	178

文部科学省「平成23年度学校基本調査」参考

## (10) その他の施設 表示のないものは23年3月31日現在

目	数 値	備 考	
本 庁 舎	箇 所 数	1	
	延 面 積 (m <sup>2</sup> )	1,914	
児 童 館	箇 所 数	1	
	延 面 積 (m <sup>2</sup> )	282	
公 民 館	箇 所 数	7	
	専 任 職 員 数(人)	1	23年4月1日現在
図 書 館	箇 所 数	1	
町民プール	箇 所 数	1	
都市公園	箇 所 数	6	中丸公園、琴平公園、石倉フレンドリーパーク、白鷹ニュータウン公園、八乙女ボケットパーク、めぐりや健康公園
	(m <sup>2</sup> )	156,423	
公営住宅	戸 数	35	

(11) 土地 23年3月31日現在(単位:m<sup>2</sup>)

公 有 財 産	1 行政財産	本 庁 舎		14,132
		他 所 機 行 の の 関 政	消 防 施 設	7,674
		そ の 他 の 施 設	-	
	公 共 用 財 産	小 学 校	171,610	
		中 学 校	89,898	
		高 等 学 校	-	
		公 営 住 宅	14,733	
		公 園	400,493	
		そ の 他 の 施 設	476,868	
		山 林	116,167	
	そ の 他	-		
	計		1,291,575	
産	2 普通財産	宅 地	32,563	
		田 畑	-	
		山 林	177,417	
		そ の 他	21,519	
		計	231,499	